



令和6年5月吉日

各 位

四條畷学園短期大学
教学委員長 工藤真由美

学生による「授業評価アンケート」の実施について

平素より本学の教育・学生指導にご尽力賜り、心より厚く御礼申し上げます。
本学では授業改善・教育力向上に向け、授業評価アンケートの実施に取り組んでおり、今年度の実施をお願いする次第です。

授業評価アンケートは、授業到達目標の達成度（学修成果）を基準にして、学生・教員双方が評価することで、授業の課題・改善点を明確にすることを目的としております。また、中間アンケートを実施することで、授業の課題・改善点を浮き彫りにし後半の授業に反映させることで、学生の授業への参加意識を高め、授業到達目標の達成度を高めるねらいがあります。

なお、授業評価アンケート結果に基づく「授業評価アンケート報告書」のご作成と、本学ホームページでの公開も予定しております。あらかじめご了承ください。

何卒趣旨ご理解の上、ご協力賜りますよう、よろしくお願いいたします。なお詳細・日程につきましては、次項『授業評価アンケート実施要領』をご覧ください。

令和6年5月吉日

授業評価アンケート実施要領

教学委員会

ねらい

- 学生の満足度による授業評価ではなく、授業の到達目標の達成度（学修成果）を基準に
学生・授業担当者双方が評価することで、授業の課題・改善点を明確にする
- 中間アンケートの導入により、学生の授業への参加意識を高める

授業評価アンケート 実施対象

専任教員： 担当授業科目のうち 任意の2科目（又は同一科目2クラスでも可）

非常勤教員： 担当授業科目のうち 任意の1科目＝1クラス

※注 複数の授業担当者が15回授業の途中で交代するオムニバス授業は、中間アンケートの結果が反映されないので授業評価アンケートの対象から除外

実施スケジュール

4/6～	授業1回目～	授業の到達目標の周知 ・シラバス記載の到達目標（授業終了段階で、学生にできるようにしてほしい事柄）を学生に明確に示す
5/22～ 6/7	授業8回目頃	授業評価「中間アンケート」の実施 ★1 1. アンケート用紙を授業担当者が学生に配布 （事務室で必要枚数を受け取って下さい） 2. 学生が回答した用紙を授業担当者が回収 *教学委員会に提出は不要です 3. 翌回、学生の意見・要望等をフィードバック、 授業改善に活用する
7/1～ 7/12	授業14～15回目	授業評価アンケートの実施 ★2 ・学生がユニパにログイン、回答する ・アンケート集計結果の閲覧期間 <u>7/18～8/31</u> *システム上、学生は結果を閲覧できません
8/25 ×切	成績評価後	授業評価アンケート報告書の提出 ★3 ・授業担当者がユニパにログイン、回答する

★1～3 時期が近づきましたら、ユニパ配信でお知らせする予定です

《中間アンケート》

- 問1 この授業の良い点を具体的に述べて下さい。
- 問2 この授業について改善してほしい点を具体的に述べて下さい。
- 問3 あなたは、授業中の分からないことや不明な点を質問したり調べたりしましたか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまり思わない 4. そう思わない

《最終アンケート》

- 問1 中間アンケートで出された学生の意見、要望に対する取り組みは見られましたか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまり思わない 4. そう思わない
- 問2 この授業は、積極的な参加を促すための工夫（質疑応答、課題の発表、グループワーク、コメントペーパーなど）がされていましたか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまり思わない 4. そう思わない
- 問3 この授業の予習・復習および課題に当てた時間は、1週間でどのくらいですか。
1. 2時間以上 2. 1～2時間 3. 30分～1時間 4. 30分未満
- 問4 この授業のシラバスに示されている到達目標をどの程度達成できたと思いますか。
1. ほとんど達成できた（90～100%） 2. かなり達成できた（80～89%）
3. 少し達成できた（70～79%） 4. あまり達成できなかった（60～69%）
5. ほとんど達成できなかった（59%以下）

《授業評価アンケート報告書》

（各欄 300 字以内）

- 問1 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。
- 問2 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい（今後の課題も含む）。



授業評価アンケート（中間アンケート）

このアンケートは、履修生の学修成果を上げるため、授業をより良くする目的で実施するものです。記述内容は成績評価に関係しません。

問1 この授業の良い点を具体的に述べて下さい。

問2 この授業について改善してほしい点を具体的に述べて下さい。

問3 あなたは、授業中の分からないことや不明な点を質問したり調べたりしましたか。（あてはまるもの一つに○をつけて下さい）

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまり思わない 4. そう思わない



令和6年6月吉日

各 位

四條畷学園短期大学
副学長・教学委員長 工藤真由美

授業評価アンケートの実施および報告書ご提出のお願い

平素より本学の教育・学生指導にご尽力賜り、心より厚く御礼申し上げます。

今期授業も終了に近づいて参りました。「中間アンケート」を実施した科目（クラス）につきまして、授業評価アンケートの実施を下記の通りご案内申し上げます。

校務ご多忙の折大変恐縮ではございますが、授業改善・教育力向上に向けご協力の程何卒よろしくお願い申し上げます。

記

実施期間 : 授業回数 14 回目もしくは 15 回目（7/1～7/12 補講の場合含む）
※年間行事予定・ユニパの出欠管理で授業回数の確認ができます

実施対象科目 : 「中間アンケート」を実施した科目（クラス）

実施方法 : p2 マニュアル：学生用【授業評価アンケートの回答方法】参照
※授業評価一覧には、学生の履修授業がすべて表示されます。
教員の指示する授業科目のみに回答させて下さい。

結果の閲覧 : p3 マニュアル：教員用【授業評価アンケートの閲覧・授業評価アンケート報告書の回答方法】参照
※実施科目以外の科目名が表示される場合がありますが、学生が間違えて回答したものです。学生は結果を閲覧できません。

※授業評価アンケート

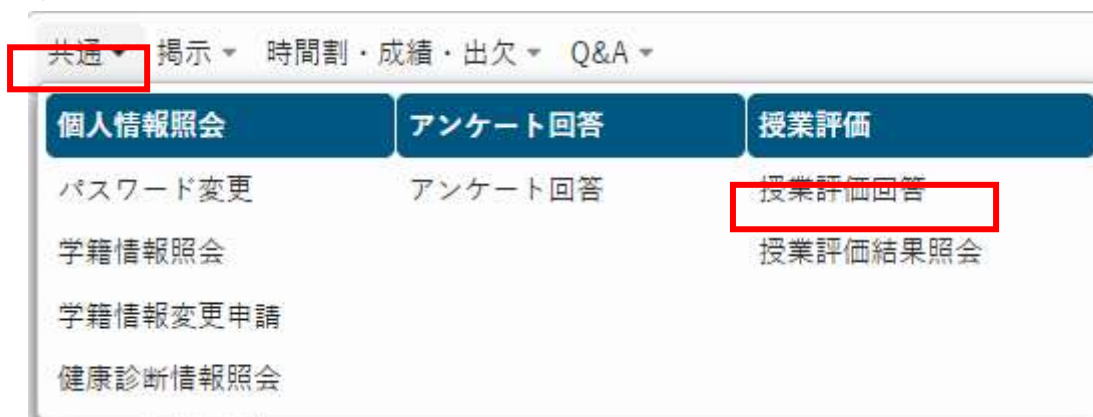
結 果 閲覧期間 : 7/18(木)～8/31(土)

報告書 作成期限 : 8/25(日)

※ユニパのアンケートに回答する形での報告書作成となります。授業評価アンケートの結果について、中間アンケート・学生の成績（学修成果の状況）と関連づけ、ご考察下さい。

学生用 【授業評価アンケートの回答方法】

- ①パソコンまたはスマートフォンから UNIPA へログインします。
- ②「メインメニュー」⇒「共通」⇒「授業評価回答」を選択します。



- ③回答する「授業科目名」をクリックします。
- ④アンケート内容が表示されますので、全ての問いに回答してください。
- ⑤すべての回答が終了したら、下部にある「回答」ボタンをクリックしてください。

UNIVERSAL PASSPORT

教員向け授業評価アンケート閲覧方法

授業評価プレビュー

回答期限：2023/01/14(土) 23:59

提出人：FD委員会

【短期大学】授業評価アンケート（2022年度 後期）

授業評価アンケートです。回答をお願いいたします。

1.
問1 中間アンケートで出された学生の意見、要望に対する取り組みは見られましたが。

☐ そう思う ☐ ややそう思う ☐ あまり思わない ☐ そう思わない

2.
問2 この授業は、積極的な参加を促すための工夫（質疑応答、課題の発表、グループワーク、コメントペーパーなど）がされていたか。

☐ そう思う ☐ ややそう思う ☐ あまり思わない ☐ そう思わない

3.
問3 この授業の予習・復習および課題に当てた時間は、1週間でどのくらいですか。

☐ 2時間以上 ☐ 1～2時間 ☐ 30分～1時間 ☐ 30分未満

4.
問4 この授業のシラバスに示されている到達目標をどの程度達成できたといえますか。

☐ ほとんど達成できた（90～100%） ☐ かなり達成できた（80～89%） ☒ 少し達成できた（70～79%） ☐ あまり達成できなかった（60～69%） ☐ ほとんど達成できなかった（59%以下）

ありがとうございました。

回答

授業評価アンケート結果を確認する。

①
メ
イ
ン

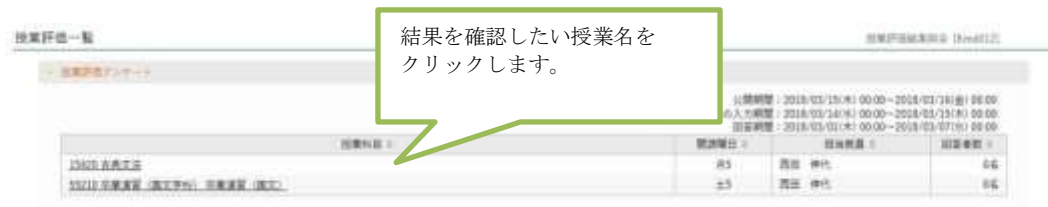
UNIVERSAL PASSPORT

授業評価アンケート報告書 作成方法

メニュー → 授業関連 → 授業評価結果照会を開きます。



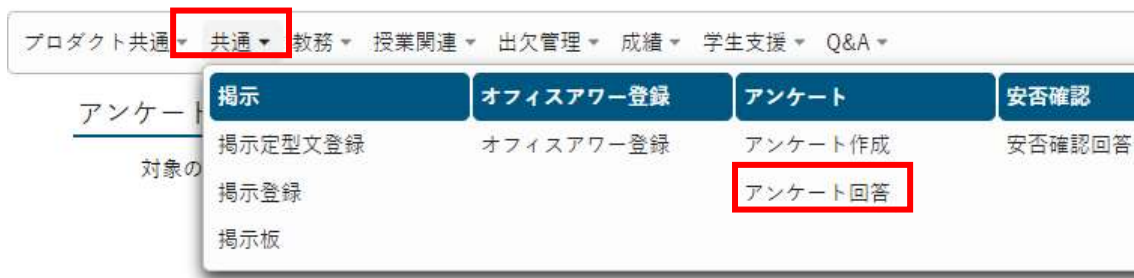
②【授業評価一覧】画面が表示されます。



③授業ごとの集計結果が表示されます。(以下の結果はサンプルです)



①メインメニュー → 共通 → アンケート → アンケート回答を開きます。



②授業評価アンケートを実施された科目についてご入力ください。

アンケート実施科目

1 科目・・・項目1～8まで

2 科目・・・項目1～16まで ご回答ください。 よろしく願いいたします。

A screenshot of a web application's survey preview page. The page title is 'アンケートプレビュー'. The main content area is titled '【短期大学】授業評価アンケート報告書'. Below the title, there is a message: '授業評価アンケートを実施された科目についてご入力ください。 よろしく願いいたします。'. The form contains several input fields: 1. 【年度】 (Year), 2. 【学期】 (Semester), 3. 【授業コード】 (Class Code), 4. 【科目名】 (Subject Name), 5. 【お名前】 (Name). Below these fields, there is a section for questions: '以下の質問にお答え下さい。(各300字以内でお願いします。)' (Please answer the following questions. (Please answer within 300 characters for each.)). The first question is: '1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。' (Please describe the reason for selecting this subject (class) as the target of this class evaluation survey.). The page also shows a '回答期限' (Response Deadline) and a '提出人: FD委員会' (Submitter: FD Committee).

回答後は、下部【回答】ボタンを押して終了してください。

2024年度前期 「授業評価アンケート」 報告書

	教職員氏名	科目名	問1. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	問2. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
保	合田 誠	社会福祉（1・2・3組）	受講生から指摘された事項として、最も多かったのはパワーポイントのスクリーンをめくるのをもう少し待ってほしいとの要望だったので、授業開始時から意識しての声かけはしていたが、さらに声かけを促すようにした。また、授業内容のプリント作成を要望した学生も一部いたことに対しては、他方の意見としてノートに書く方が理解できるとの意見もあったことを紹介し、授業配布する資料を少し増やすようにした。☑ ただ、もう少し動画を見る時間を確保してほしいとの要望については、伝える内容を精査したとしても、時間確保には至らなかった。	今年度のペーパーテスト実施方式をコロナ禍前に戻した。つまり、コロナ禍前は「持ち込み不可」を実行していたが、リモート授業等の不足を補う目的で、最終授業で配布する「まとめ」プリントのみを持ち込み可とした。今年度は4年ぶりに「持ち込み不可」に戻したため、昨年度までと比較し、学生の評価は相当落ち込んだ。これもある程度は想定していたが、次年度以降も保育士の基幹科目として基礎固めをしてもらうためにも、この形式を継続していきたい。☑ 到達目標に関しては、「ほとんど達成」～「少し達成」までを合算すると9割以上となり、達成できたといえる。
		社会福祉（4・5・6組）	中間アンケートで、改善要望が多かったのは、パワーポイントのスクリーンをめくる早さに対する指摘であった。授業開始時より、学生には声かけはしていたものの、アンケート以降はさらに注意しながら声かけに努めた。ノートの書く量が多いとの指摘もあったが、改めてスクリーンに映し出している内容をすべて書かせていることではなく、ポイントのみを書いてもらったり、補足としてテキストや配付資料を活用していることを説明しておいた。	今年度のペーパーテスト実施方式をコロナ禍前に戻した。つまり、コロナ禍前は「持ち込み不可」を実行していたが、リモート授業等の不足を補う目的で、最終授業で配布する「まとめ」プリントのみを持ち込み可とした。今年度は4年ぶりに「持ち込み不可」に戻したため、昨年度までと比較し、学生の評価は相当落ち込んだ。これもある程度は想定していたが、次年度以降も保育士の基幹科目として基礎固めをしてもらうためにも、この形式を継続していきたい。☑ 到達目標に関しては、「ほとんど達成」～「少し達成」までを合算すると9割以上となり、達成できたといえる。
保	鍛冶谷 静	子どもの理解と援助（1・2・3組）	プロジェクターが見にくいとの意見が複数あり、教室の照明を落として対応した。	アンケートの結果と実際の成績との大きなギャップはなかった。ただし「あまり達成できなかった」と回答した学生が数名いたので、どのような知識技能が身についたのか、毎回の授業でさらに丁寧に伝え学生の実感につなげられるよう改善している
		子どもの理解と援助（4・5・6組）	いい評価を書いてくれたので、さらに満足をしてもらい、成長できるように授業設計への工夫を継続した。	中間で行った授業アンケートでは、要望が全くなく、授業が充実しているという☑嬉しい感想を多くいただいた。☑のためか、最終アンケートの「改善されたか？」の問いに学生は答えにくかったのかもしれない。☑習復習時間が2時間の学生もあり、真剣に取り組んだ姿勢を知ることができた。☑ ☑達目標の問いに対して、ほとんど達成できた、かなり達成できた学生が29名中20名であることに安心感を得ることができた。☑
保	香月 欣浩	幼児と図工Ⅰ（1・2・3組）	1年生の授業改善（授業内容・方法）を今年度も継続して行っているため、その効果を知りたかったため。	制作時間、片付け時間、振り返りシートの時間確保についての希望であったので、段取りをさらに考え、改善を行った。
		幼児と図工Ⅰ（4・5・6組）	いい感想ばかりだったので、さらに成長してもらえるように、学生の興味や状況を鑑みながら授業を設計し、実行することができた。	中間で行った授業アンケートでは、要望が全くなく、授業が充実しているという☑嬉しい感想を多くいただいた。☑のためか、最終アンケートの「改善されたか？」の問いに学生は答えにくかったのかもしれない。☑ 到達目標の問いに対して、ほとんど達成できた、かなり達成できた学生が23名中18名と高く安心感を得ることができた。☑手な学生はまだいるので、自信をつけ、保育者に向けて成長できるような授業を実施していきたい☑

	教職員氏名	科目名	問1. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	問2. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
保	阪野 学	社会的養護Ⅱ (1・2・3組)	毎回の授業においてアクティブラーニングとして学生にシャトルシート（以下、シート）の提出及び答え合わせをして間違いを訂正したシートの再提出を課している。毎回のシートには要望があれば書き込める様にしている。尚、要望については、積極的な受講態度として評価し必ず次の授業でリアクションをするようにしている。対応ができない場合は何故対応できないのか説明をしている。そのため中間アンケートには取り立てて要望は無かった。☒ しかし、授業のシートには、シートを授業の開始前に配布して欲しい、パワーポイントのシートの問題の回答にあたる部分にアンダーラインをして欲しい、パワーポイントを見やすくして欲しい、テキストのアンダーラインを引く所が分かり難い事があるので配慮して欲しい、アクティブラーニングを導入して欲しい（シートの取り組み自体がアクティブラーニング）、授業の後半が急ぎ足になるのでペース配分を考えて欲しい等の要望があった。何れも次の授業で要望のあった旨を説明し改善を行った。☒	シャトルシートを導入した目的は、授業内容の習熟度向上と学生たちがシートを活用して質問や要望が挙げる事が出来積極的に授業に参加できる様にするためである。そして更に毎回のシートに授業内容について考察文を書かせ添削の上返却し訂正させることによる文章力の向上の狙いも兼ねている。そして、その結果予習も含めた学外学修時間の確保に繋げている。ただし、学生に過度な負担が掛からない様に要望や本アンケートの結果に留意しながら対応を検討している。平均点は、65点であった。☒1「そう思う・ややそう思う」が全体の約約65% 更に学生からの要望の対応に努める。☒2「そう思う・ややそう思う」が全体の約69% シャトルシートの取り組み自体がアクティブラーニングであることを繰り返し説明する。☒3全体の45%の学生たちが30分～1時間の学外学修時間が確保でき約31%の学生たちが1～2時間以上そして、約24%の学生たちは30分未満しか確保が出来ていない。この学生たちの割合を少なくするために検討する。☒4シラバスの到達度は、「ほとんど達成できた・かなり達成できた」が全体の約31%、学生の理解度を推し量りながら工夫をしていく。☒
		社会的養護Ⅱ (4・5・6組)	毎回の授業においてアクティブラーニングとして学生にシャトルシート（以下、シート）の提出及び答え合わせをして間違いを訂正したシートの再提出を課している。毎回のシートには要望があれば書き込める様にしている。尚、要望については、積極的な受講態度として評価し必ず次の授業でリアクションするようにしている。対応ができない場合は何故対応できないのか説明をしている。そのため中間アンケートには取り立てて要望は無かった。☒ しかし、授業のシートには、シートを授業の開始前に配布して欲しい、パワーポイントのシートの問題の回答にあたる部分にアンダーラインをして欲しい、パワーポイントを見やすくして欲しい、テキストのアンダーラインを引く所が分かり難い事があるので配慮して欲しい、アクティブラーニングを導入して欲しい（シートの取り組み自体がアクティブラーニング）、授業の後半が急ぎ足になるのでペース配分を考えて欲しい等の要望があった。何れも次の授業で要望のあった旨を説明し改善を行った。	シャトルシートを導入した目的は、授業内容の習熟度向上と学生たちがシートを活用して質問や要望が挙げる事が出来積極的に授業に参加できる様にするためである。そして更に毎回のシートに授業内容について考察文を書かせ添削の上返却し訂正させることによる文章力の向上の狙いも兼ねている。そして、その結果予習も含めた学外学修時間の確保に繋げている。ただし、学生に過度な負担が掛からない様に要望や本アンケートの結果に留意しながら対応を検討している。平均点は、69点であった。☒ 問1 「そう思う・ややそう思う」が全体の約約92% 更に学生からの要望の対応に努める。☒ 問2 「そう思う・ややそう思う」が全体の約76% シャトルシートの取り組みがアクティブラーニングであることを繰り返し説明する。☒ 問3 全体の67%の学生たちが30分～1時間の学外学修時間が確保でき約8%の学生たちが1～2時間そして、約25%の学生たちは30分未満しか確保が出来ていない。この学生たちの割合を少なくするために検討する。☒ 問4 シラバスの到達度は、「ほとんど達成できた・かなり達成できた」が全体の約46%、学生の理解度を推し量りながら工夫をしていく。

	教職員氏名	科目名	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。
保	金川 朋子	特別支援教育Ⅰ (1・2・3組)	授業内で提示するPPにおいて、教科書のページ数を明確にする。☑ 授業内で提示するPPのスライドについて、新たなスライドを提示するときには、都度、確認を行った。☑個人差が大きいため、授業後個別対応に応じた)	1名が「あまり達成できなかった」という回答であり、その他は、「ほとんど達成できた」「かなり達成できた」「少し達成できた」との状況であった。☑ 前期は基礎的な内容なので妥当な結果だと考える。☑
		特別支援教育Ⅰ (4・5・6組)	授業内で提示するPPにおいて、教科書のページ数を明確にする。☑ 授業内で提示するPPのスライドについて、新たなスライドを提示するときには、都度、確認を行った。☑個人差が大きいため、授業後個別対応に応じた) ☑ 改善点について、肯定的にとらえてもらえていたので、安心したが、今後も、学生が理解しやすい授業づくりに努めたい。	3名が「あまり達成できなかった」という回答であり、その他は、「ほとんど達成できた」「かなり達成できた」「少し達成できた」との状況であった。☑ 前期は基礎的な内容なので妥当な結果だと考える。☑まり達成できなかったという回答については、どのような点が難しく感じたのか、なぜ、そのように感じたのかを知る方法がないが、☑期の授業では、適宜、理解度を確認して授業を進めたい。
保	千田 耕太郎	幼児と音楽Ⅰ (1・2・3組)	この授業は複数教員が担当しているので、中間アンケートの結果を全員で共有した。☑ ただ、改善を必要とするような要望は今回は無かった。	シラバス到達目標達成状況について、アンケート結果では、「ほとんど達成できた」28%、「かなり達成できた」31%、「少し達成できた」41%で、「あまり達成できなかった」と「ほとんど達成できなかった」は0%であった。学生の成績と自己評価はほぼ一致しており、学生達は客観的に自分の成果について評価できているように思う。☑ 今後の課題としては、到達目標の達成度を上げるための予習・復習に充てる時間がまだまだ足りないと感じており、具体的な手立てが必要であると感じている。
		幼児と音楽Ⅰ (4・5・6組)	この授業は複数教員が担当しているので、中間アンケートの結果を全員で共有した。☑ ただ、改善を必要とするような要望は今回は無かった。	シラバス到達目標達成状況について、アンケート結果では、「ほとんど達成できた」37%、「かなり達成できた」37%、「少し達成できた」26%で、「あまり達成できなかった」と「ほとんど達成できなかった」は0%であった。学生の成績と自己評価はほぼ一致しており、学生達は客観的に自分の成果について評価できているように思う。☑ 今後の課題としては、到達目標の達成度を上げるための予習・復習に充てる時間がまだまだ足りないと感じており、具体的な手立てが必要であると感じている。
保	松下 明日香	幼児と健康 (1・2・3組)	中間アンケートでは配布資料への記入について、もう少し時間が欲しいという意見があった。スライドの切り替えの際に、進んでもよいか声をかけたり、授業後に見逃したスライドを再表示できることを伝えたり等して対応した。	おおむね達成できたと言える。繰り返し要点を伝えた分野や、実際に子どもに対する援助をペアワークする演習等、実践を伴った学びについては、定着していることがうかがえた。いかに学生の理解を深め、実践力につながる学びを提供できるか、教授方法の改善を重ねていきたい。
		幼児と健康 (4・5・6組)	グループワークが苦手、やグループワークをする際に、ペアを明確に指定してほしいという意見があった。隣・前後など明確にペアを指定するとともに、欠席者がおりペアがいない学生に対しては、教室を巡回し教員がペアを指定するようにした。	おおむね達成できたと言える。繰り返し要点を伝えた分野や、実際に子どもに対する援助をペアワークする演習等、実践を伴った学びについては、定着していることがうかがえた。いかに学生の理解を深め、実践力につながる学びを提供できるか、教授方法の改善を重ねていきたい。

	教職員氏名	科目名	問1. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	問2. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
保	森 麻希子	保育内容演習(総合表現) (1・2組)	中間アンケートの結果について、記載があるものはポジティブなものが多く見られた。改善点については特になしがほとんどであったが、一部、意見の伝え方について記載があった。☑ 授業の取組みの一つとして、子ども向け創作ミュージカルを作り上げていく過程で、学生同士で言葉が強くなってしまうことがあるため、学生からの相談を受けながらフォローをしつつ、全体的に注意した。また教員からのアドバイス時には学生の気持ちに配慮し、慎重に言葉を選び必要な指導を行った。☑	回答者の中で、学生の自己評価と実際の成績について大きな差異は見られなかった。到達目標について概ね達成したと思われる。☑ 今年度は小グループの活動を増やし、各担当者と連携し授業内容の見直し図ったが学生からも達成感、充実感を得られたと聞いており、最後の課題発表では学生達の成長が見られた。☑ 時間配分や、学生同士の関係性は毎年の課題として挙がってくるため、そのことにも留意しつつ次年度では更にブラッシュアップできるようにしたい。☑
		保育内容演習(総合表現) (3・4組、5・6組)	中間アンケートの結果について、改善点については特になしが大多数であったが、時間が足りないという意見が少数見られた。☑ 授業の取組みの一つとして、子ども向け創作ミュージカルを作り上げるのだが、一定の期間内で集中して取り組むため、各担当者と連携しながら時間を最大限取るようにした。クラスの雰囲気、演目内容などにも左右される部分があるので、毎年の検討課題ともいえる。☑ 限られた時間の中で無理なく充実した経験ができるよう、各担当者と連携しブラッシュアップしていきたい。☑	回答者の中で、学生の自己評価と実際の成績について大きな差異は見られなかった。到達目標について概ね達成したと思われる。☑ 今年度は小グループの活動を増やし、各担当者と連携し授業内容の見直し図ったが学生からも達成感、充実感を得られたと聞いており、最後の課題発表では学生達の成長が見られた。☑ 時間配分や、学生同士の関係性は毎年の課題として挙がってくるため、そのことにも留意しつつ次年度では更にブラッシュアップできるようにしたい。☑
保	阪江 豪	幼児と人間関係	学生のより良い理解に向けて、授業の構成やグループワークを取り入れた。	概ね到達できている。
		教育実習指導Ⅱ	学生の理解を促し、実習に備えられるよう、模擬保育を実施した。	実習に対する準備学習ができ、目標についても概ね到達できた。
保	長谷 秀揮	保育内容演習 (1・2・3組)	具体的で分かり易く、特にレジュメ及びパワーポイントを活用した毎回の授業形式と、写真や録画またDVDなどの視聴覚教材を積極的に利用した授業スタイルがその分かり易さにつながっている、といった学生からの意見が多数あり意を強くしました。学生からの意見を日常的かつ継続的に参考にしながら、毎回のレジュメやパワーポイント及び視聴覚教材のさらなる充実に取り組み、授業の工夫及び改善を図るようにしました。☑	シラバスの到達目標の達成状況については、アンケート結果及び学生の成績から見て少数の学生を除き、おおよそ達成できていると考えられます。しかし十分に達成できていないと考えられる学生がいることも少数とはいえ明らかなので、より多くの学生がシラバスの到達目標を十分に達成できるように、さらなる配慮と工夫が必要であるといえます。学生の理解と習熟をより促すことが出来るように、授業の工夫及び改善をいっそう図っていくようにしたいと考えます。
保	岡山 貴範	保育内容演習環境・健康 (1・2・3組)	中間アンケートの結果から、配布プリントに全員が無理なく書き込めるよう学生に確認しながらパワーポイントのスライドを進めた。また、実際に作ったり体験することで楽しく理解し学べていたので後半も継続しておこなった。	アンケート結果と成績からシラバスの到達目標に概ね達成されたと感じている。今後の課題としては講義内容の理解度をもっと高めていけるように、学生と対話を通して講義内容の理解度を確認しながら進めていくことが必要だと思った。

	教職員氏名	科目名	問1. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	問2. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
保	竹歳賢一	情報基礎	授業進度が早いという意見があったので、指示等が通っているかを常に確認しながら授業を進めた。	8割の学生が目標達成できているので、概ね達成目標も適切であったと思われる。今後の課題として、目標達成が難しいと予想される学生に対しては、演習時に学習の進捗状況を確認して、適切なアドバイスができるよう指導したい。
保	大森由美子	子ども文化Ⅰ	童謡や手遊びをたくさん学べて良かったとの記述が多かったので、後半の授業にもそれを継続し行った。☑ 改善を求める要望は特になかった。	学生のアンケート結果は「ほとんど達成できた」32%、「かなり達成できた」26%、「少し達成できた」40%と、実際の成績より厳しい評価であった。今後は学生の達成感を高めるため教員が授業内でより積極的に評価を伝えていきたい。
保	渡邊みのぶ	日本国憲法と人権 (1・2・3組)	中間アンケートのうち、授業改善が必要と思われたコメントが「話が長い」について、授業パワーポイントの「強調ポイント」を減らし、資料枚数も減らし、授業時間を10分程度短く終了出来るよう心がけた。	課題を2点。アンケート提出数が少ない点。さらに、今回15回の授業態度と期末試験の成績を概観し、改めて「人権」というものを「自分ごと」に感じてもらう事の難しさを痛感した。「暗記」科目で面白くないという印象を、「社会問題」に対し「関心」を持つ経験を通じ、「権利」という「法的ルール」と結びつく必要があるかにまで「変換」させることができたのだろうか。「権利」というのは、全ての人が人生で直面した問題に対し、「声を上げるべきだろうか」という心理的葛藤を克服したうえで、「主張」しようと「到達」に至るものである。その「経過」を知りたい、当事者の訴えを傾聴してみようという情熱を、受講生にどのように育ててゆけばよいのか、今後の課題である。
		日本国憲法と人権 (4・5・6組)	中間アンケートのうち、授業改善が必要と思われたコメントが「資料の移行が長早い」という回答を受け、授業パワーポイントの資料枚数を減らし、可能なかぎり、ゆっくりと空欄内記入時間をもうけるよう改善した。	課題を2点。アンケート提出数が少なく、3時限に比べ授業欠席回数についても、こちらのクラスが多かった。やはり、「人権」というものを「自分ごと」に感じてもらう事の難しさを痛感した。「暗記」科目で面白くないという印象を、「社会問題」に対し「関心」を持つ経験を通じ、「権利」という「法的ルール」と結びつく必要があるかにまで「変換」させることができたのだろうか。「権利」というのは、全ての人が人生で直面した問題に対し、「声を上げるべきだろうか」という心理的葛藤を克服したうえで、「主張」しようと「到達」に至るものである。その「経過」を知りたい、当事者の訴えを傾聴してみようという情熱を、受講生にどのように育ててゆけばよいのか、今後の課題である。
保	多田 知正	子ども文化Ⅲ (Webデザイン)	中間アンケートからは、特に改善の要望等は見られなかったが、学生によってPCの操作スキルに差が見られたので、授業の進行にあたって配慮するようにした。	授業ではPCによる作業が中心であり、PCを持っていない学生が多かったため、授業外での取り組みは少なかったが、課題については各自熱心に取り組んでおり、到達目標については概ね達成できたと考えられる。
保	辻本有里恵	保育・教育課程論 (4・5・6組)	授業のスピードが速い意見は、全体的に「理解ができたか」など丁寧に声をかけ、授業後の個別対応も行った。次に、パワーポイントの文字の太さや大きさを変更した。照明については、授業内で動画や写真を見て考えることもあるので、状況に合わせて調節した。☑	アンケートより、一人を除き全員が「達成できた」と回答し、試験成績からも理解していることが裏付けられた。☑ 今後も、対話型授業を導入し、学生一人一人に目を配り心を寄せながら、学びを深めることを目指す。

	教職員氏名	科目名	問1. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	問2. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
保	竹永知弘	日本語表現 (1・2・3組)	丁寧なフィードバックを心がけた。	問題なく実践できたと考えている。
保	大庭夕穂	英語（英会話A） (4・5・6組)	・授業の進度に関しては、学生が板書する時間を十分にとれているか、授業内容についてこられているかを確認しながら進めるようにしました。☑ ・「授業中に当てないでほしい」という意見に対しては、当てることの意義を説明した上で、発言する前に考える時間や学生同士で相談する機会を設けました。	本科目は、保育現場において、日本以外で生まれ育った子どもたちとコミュニケーションが取れるよう英語の基礎力を身に付けるとともに、異なる文化を理解し受け入れる寛容性や柔軟性を養成することを到達目標としています。前期の授業を通して、学生はテキストの内容に即した問題を解くだけでなく、実際に使う場面を意識して学習を進めました。 また、異文化との接触や交流について自分の意見を述べる活動も行いました。アンケート結果と成績の両方を鑑みて、シラバスの到達目標は概ね達成できたと考えます。一方、ペアワークやグループワークの時間は限られていたため、学生同士で協力して発信する機会を設けることが今後の課題です。
保	安藤準佑	保育原理 (4・5・6組)	・PPT資料の文字が見えにくい箇所があるという意見については、文字サイズを大きく変更し、見やすいように対応した。さらに、大切な箇所は数回読み上げることや、後ろの座席の学生に見えているか声掛けするなどの工夫をした。☑ ・資料の大切な箇所は、色を変えるなどの配慮をしてほしいという意見については、文字のフォントを変えて目立つように対応した。ただし、語句だけを暗記しても理解が進まないで、その語句の説明や背景なども意識して頭に入れるように学生たちへ伝えた。	・授業の中で伝えた大切な箇所は、全体的にしっかり理解してくれている学生が多かったという印象である。☑ ・また、授業で学んだことを踏まえて、現代の制度に対して自身がどう考えるかにおいては、それぞれに考える機会にもなったと考える。☑ ・一方で、科目の傾向として、講義中心の授業が多くなりがちだったので、グループワークやディスカッションなども工夫して取り入れていけたら、さらに学生たち自身が自分なりの考えを持つきっかけとなるだろう。
保	川松智子	子ども文化Ⅱ	中間アンケートではおおむね授業に対しての満足度が高かったため、後半も同じ内容で進めていきました。☑ 腹話術の練習を通して人前で話すことに慣れ、パペットを制作する中で自分で作り上げる達成感を感じることが出来たようです。	自分自身が考えたオリジナルパペットを制作し、台本を考えて、皆の前で発表する中で自己肯定感が上昇したと思います。☑終日には北条こども園さまのご協力を得て、実際に子どもたちを前にして腹話術公演が出来たことも自信に繋がったと思います。☑ 腹話術を学ぶ中で生徒間の交流も生まれたので、この後の学生生活でも生かしていただきたいと思います。☑習おおよび就職活動にも活用し、さらに腹話術がもつ【話す、伝える、共感する】などの魅力を発展させてほしいと思います。
保	福鹿 慶子	乳児保育Ⅰ (1・2・3・4・5・6組)	幼児体操や手遊びなど適度に取り入れながら授業を進める工夫をした。また、コメントシートを使い、次の授業にコメントを書き返却できるように心がけた。	ある程度到達目標に達することができたが、居眠りをしている学生については理解ができていなかったように思う。アンケート結果にもあるように、グループワークや質疑応答なども取り入れながらその都度理解できたか確認しながら進めていきたい。

	教職員氏名	科目名	問1. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	問2. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
ラ	中川 玲子	食の科学A	1名のみではあったが「授業の進行が速い時がある」と回答されたので、全員の筆記が終わるのを確認して授業を進めた。☑ 他に改善要望はなかった。☑	中間アンケートでは、授業の良い点について「DVDもあり、わかりやすく楽しんで学べる」「書く量（講義）と動画のバランスが良い」「動画があるからわかりやすい」「動画を見て書き込むことで理解がしやすい」「ノートの筆記箇所が、パワーポイントにわかりやすく記されている」「栄養の話だけでなく、動画でレシピを紹介してくれるのが良い」など回答者11名中10名が授業を肯定的に捉え、具体的に良いところを指摘した。シラバスに示されている到達目標の達成状況について、授業評価アンケートでは「ほとんど達成できた」17%、「かなり達成できた」50%と、合わせて67%の学生が達成できたと回答しが、一方、実際の成績では100点満点中80点以上の学生数は50%に留まっていた。今後は成績アップを意識した授業へと改善し、シラバスの到達目標の達成状況に対する学生の意識と実際の達成状況である成績とのギャップを埋めることが課題であるといえる。
		卒業ゼミ（発展）	中間アンケートでは、改善してほしい点の記述はなかった。	シラバスに示されている到達目標の達成状況について、授業評価アンケートでは「ほとんど達成できた」75%、「かなり達成できた」25%と、合わせて100%の学生が達成できたと回答し、実際の成績も全員が100点満点中80点以上と、達成状況の結果が一致していた。このように学生の意識に、実際の成績が伴って、シラバスの到達目標が達成された。
ラ	伊東めぐみ	医療事務1 （火曜2限）	中間アンケートで何件かあった学生の意見として、授業の進み方が早いので、もう少しゆっくり進めてほしいという意見がありました。毎年この授業評価でみられる意見で、その年度の学生の様子に合わせて、授業速度を調節しています。ただし、最後の単元まで進めなくてはいけないという範疇での工夫としなければならず、毎年苦慮するところです。今年度は、書く速度、計算する速度が若干遅い学生が見受けられたので、問題を解く時間をできる限り取りました。最終評価ではそう思う・ややそう思うが合わせて約90%を占める結果でした。	学生の成績は、秀・優合わせて40%、良が40%、不可が20%という結果で、授業評価アンケートの結果はかなり達成できたという回答が22%、少し達成できたという回答が44%、あまり達成できなかった、ほとんど達成できなかったという回答を合わせて33%だったので、自己評価のほうが少し低い結果でした。授業担当者としては、おおむね到達目標に達していると評価できる学生が8割程度の実感を持っています。今後の課題としては、毎回課題として挙げられることですが、できるだけ深く、広く学べることと、成績不良者を出さない丁寧な指導、2つのバランスを取りながら授業を行っていくことです。
		医療事務1 （水曜3限）	この授業は、1つの科目を2コマに分けて実施しており、そのうちの2科目目で、どちらも授業評価を行う授業に設定しています。こちらのクラスは1科目目と違い、中間アンケートで学生からの意見等がありませんでした。授業担当者としては、1科目目のクラスと同じように、授業速度についてももう少しゆっくり進めてほしい学生がいる可能性があると感じて、こちらのクラスも同様に問題を解く時間を長く取るようにしました。	学生の成績は、優が25%、良・可合わせて56%、不可13%という結果で、授業評価アンケートの結果はほとんど達成できた・かなり達成できたという回答が42%、少し達成できたという回答が43%、あまり達成できなかった、ほとんど達成できなかったという回答を合わせて14%だったので、自己評価のほうが高いという結果でした。1科目目のクラスの授業評価アンケートと比べると、自己評価が高く表れました。授業担当者としては、目標におおむね到達できている学生は約3割、十分ではないが基準以上の到達点には達していると感じられる学生が約6割という実感です。今後の課題は、1科目目と同様です。

	教職員氏名	科目名	問1. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	問2. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
ラ	工藤真由美	日本語表現法【い】	中間アンケートの要望は、パワーポイントを印刷して書き込みができるようにしたプリントを毎時間配布しているが、その書き込み欄の大きさが小さいという意見であり、7名いた。ほかの要望はなかった。それに対して、印刷済みのプリントがあるため、それを破棄することは難しいので、印刷済みの授業回が終了したならば、書式を改良すると約束した。アンケートでは、改善されたが90%であり、あまり改善されていない10%を大幅に上回った。しかしまだ10%は小さいと感じているので、今後工夫したい。☒	予習復習に関してはシラバスに30分から1時間と記している。アンケートでも89%がそれに該当し、さらに1～2時間も11%存在する。授業への積極的参加を促す工夫がされているかに対しては、94%が該当すると答えている。到達目標の達成状況もほとんど達成22%、かなり達成50%、少しは達成28%となっている。実際に到達度は、かなり達成に該当するのが79%、ほとんど達成に該当するのが21%であり、授業への積極的参加を促すアクティブラーニングの意図もしっかりと感じ取り熱心に取り組んでいた。以上の定められた予習復習の実施、アクティブラーニングの意図を理解し積極的な授業参加など、すべてが一体となり高い%での到達目標の達成に至っている。
		日本語表現法【ろ】	中間アンケートの要望は、パワーポイントを印刷して書き込みができるようにしたプリントを毎時間配布しているが、その書き込み欄の大きさが小さいという意見であり、6名いた。それに対して、印刷済みのプリントがあるため、それを破棄することはむづかしいので、印刷済みの授業回が終了したならば、書式を改良すると約束した。アンケートでは、改善されたが95%であり、あまり改善されていない5%を大幅に上回った。しかしまだ5%は小さいと感じているので、今後工夫したい。もう一つの要望は、1名から毎時間実施の小テストの答え合わせ後の間違い直しの時間が短いというものであった。授業中は基本的に直しをする時間は設けておらず、小テストは回収後即日返却しており、授業後その日のうちに直しができると説明した。	予習復習に関してはシラバスに30分から1時間と記している。アンケートでも28%がそれに該当し、さらに1～2時間も11%存在する。しかし30分未満が50%と大半を占めている。授業への積極的参加を促す工夫がされているかに対しては、67%が該当すると答えているが、33%はあまり工夫されていないと回答していた。授業への積極的参加を促すアクティブラーニングの意図をしっかりと感じ取り熱心に取り組んでいた（取り組んでいなかった）割合と一致している。到達目標の達成状況もほとんど達成6%、かなり達成28%、少しは達成61%、ほとんど達成できていないが6%となっている。実際に到達度は、ほとんど達成に該当するのが27%、かなり達成に該当するのが50%であった。ほとんど達成していないも6%いた。自己意識は下振れしているものの、予習復習の時間、授業への参加度、到達目標すべての割合がほぼ実態と一致していた。シラバスに定めた30分以上の予習復習、積極的な授業参加が、授業目標の到達に不可欠であることの理解をさらに増やすことが今後の課題である。
ラ	安谷 元伸	卒業ゼミ（発展）	中間アンケートでは改善の要望等がなかったため、作業時間を十分に確保しつつ中間アンケート前と同じく授業を展開した。	問1及び問2において「そう思う」が100%、問4においても4名中2名が「ほとんど達成できた」1名が「少し達成できた」と回答しており、この授業の目標をほぼ達成できたものと判断できる。今回少数の授業でのアンケートとなったものの、1名が欠席等でタイミングが合わずアンケートに回答をしていなかった。連絡等は再行ったものの、14、15回目の授業欠席者へのアンケート徹底の方法の模索についても今後取り組んでいきたい。
		ウェブデザインⅡ	中間アンケートでは、昨年まで提示について要望が寄せられることがあったものの、今年度は可能な限り対応したこともあり、☒資料提示等も含めて改善の要望は特になかった。そのため、中間アンケート後もその前と同じ授業展開で進めた。	問4「この授業のシラバスに示されている徹底目標をどの程度達成できたと思いますか」では、「ほとんど達成できた」2名、「かなり達成できた」2名、「少し達成できた」2名であり、達成できなかったとの回答はなかった。その一方で、問2の「この授業は、積極的な参加を促すための工夫がなされていましたか」では、1名が「あまりそう思わない」と回答しており、コンピュータを用いる実技系授業であっても視点を変えた授業参加の取り組みの必要性を改めて感じた。次年度以降、そのような工夫を取り入れていきたい。

	教職員氏名	科目名	問1. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	問2. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
ラ	河合 真知	ビジネス実務演習	中間アンケートから2点について改善・工夫をおこなった。☑ 1点目は、「進行が速い」とのコメントがあった。秘書検定の受験を想定した演習も含んでいることから、当初予定の進行を大幅に変えるわけにはいかないが、速いと感じないよう、配布資料で調整を行った。☑ 2点目は、「PPTが見にくい」とのコメントがあった。昨年も見やすく拡大したが、履修者増等により、教室の変更や投影機器が変わったことも影響したと考え、更に見直しをおこなった。☑	授業評価アンケートの結果と学生の成績は、概ね合致していると考える。☑ 成績は、Sが4%、Aが19%、B54%、C15%であった。アンケート結果は、「ほとんど達成できた」4%、「かなり達成できた」46%、「少し達成できた」50%である。この結果から、学生にとってこの授業は少し難易度のある授業であったとかがえるが、「達成できなかった」と回答した学生はいないことから、全体の成績を上げるには効果のあるレベル内容だったと推察する。本授業の履修者の内1年生16名が秘書検定2級に6月に合格した事も成果と言え、シラバスの到達目標を達成していると考える。この成果を後期の「ビジネス総合演習」につなげていきたい。
		キャリアデザイン[B]	中間アンケートから、2点の指摘にまとめる。1点目は、授業進行のスピードについてである。「スライドの切り替えが早いのでゆっくりしてほしい」「特に授業後半にスピードが速くなるのでしんどい」との指摘であった。スライドについては、確認しながら切り替えるようにし、また、予定通りの進行にこだわらず、次回持越しも良しとして進めるようにした。☑ 2点目は、「スーツ着用をやめてほしい」「スーツで暑いのでクーラーをもっと効かせてほしい」とのコメントがあった。スーツをやめることはできないが、教室の温度設定についてこまめに確認するようにした。☑	授業評価アンケートの結果と学生の成績から、シラバスの到達目標は達成できていると考える。アンケートでは、「達成できた」の合計が89%（「ほとんど達成できた」17%、「かなり達成できた」44%、「少し達成できた」28%）であった。一方、成績は、S・Aあわせて82%であり、概ね合致している。本授業では、将来のキャリア形成に向けて自己探索を様々な方法でおこなってきた。学生自身が、自己理解が少なからず進んだと感じている結果だと考える。☑ 今期は、大学生用の職業VRTレディネステストを最後に導入した。「それまでの自己探索に納得感が得られた」と、学生のコメントにもあり、実施は有効であったと見受けられる。今後も継続したい。☑
ラ	中川明仁	人間関係論	学生からの改善希望として、以下の2点が挙げられていた。☑ ①パワーポイントとスクリーンのサイズがあっておらず、横の文字がはみ出している見えにくい ☑ノートする内容が多い☑ ①について、プロジェクターのリモコンにてサイズの変更が可能か試してみるも、それも不可であったため、☑風事務室に相談。「あるものを使っていただくしかない」との回答であったため、その旨、学生にも☑業内で回答する。なるべく、横にはみ出さないようパワーポイント作成時に配慮した。☑ ②について、ノートテイクすることで学生の理解が深まると考えているが、数名の受講生から同様の意見が☑ていたため、ノートする箇所を減らす対応をした。☑	毎度の授業に出席している学生の成績は概ね良好であり、欠席が目立つ学生の成績が不良である傾向が示された。☑ したがって、授業に出席して説明を聞き、ノートをとっていれば十分に対応可能な課題（試験）の設定であったと自己評価する。☑ シラバスの到達目標も概ね達成できていたと自己評価する。中間アンケートの中で、「具体例（実体験）を交えた話をしてくれるのでわかりやすい」との☑見が出されていたので、今後の授業においても学生が想像しやすい卑近な例を挙げながら授業を進めていきたい。
		自分探しの心理学	学生からの改善希望として、以下の1点が挙げられていた。☑ ・パワーポイントとスクリーンのサイズがあっておらず、横の文字がはみ出している見えにくい☑ →プロジェクターのリモコンにてサイズの変更が可能か試してみるも、それも不可であったため、☑風事務室に相談。「あるものを使っていただくしかない」との回答であったため、その旨、学生にも☑業内で回答する。なるべく、横にはみ出さないようパワーポイント作成時に配慮した。	学生の出席状況と成績が概ね比例関係にあることが示されていた。☑ 授業に出席して説明を聞き、ノートをとっていれば十分に対応できる課題（試験）であったと考えている。☑ シラバスの到達目標も概ね達成できていたと自己評価する。授業後の振り返りシートにて、受講生からの☑問も受け付け、翌週の授業の冒頭で回答することを行っていたが、その取り組みへの肯定的なコメント☑得られていたので、今後の授業においてもその取り組みは継続していきたい。

	教職員氏名	科目名	問1. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	問2. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
ラ	久保 覚司	医療事務総論（月3）	各スライドを説明後に、一定時間の書き写す時間を設けた。 ☒ また板書についても、これまで以上に大きく見やすく書くことを心がけた。	次年度以降は見直しを考えている。 ☒ （到達目標の達成を重視するあまり、想定よりも時間が足りず、自宅学習の時間を増やしてしまうことになったため） ☒ 現在はコンピュータ関連科目以外はGoogle Classroomの利用が許可されていないが、スライド資料の公開等が必要かと考えている。
		ICDコーディング演習1	座学中心となっしまい、寝落ちする学生が多く見られた。 ☒ 穴埋めプリントを配布したが、あまり効果は見られなかったように感じている。	到達目標は概ね達成でき、学生の理解度も満足する結果となった。 ☒ ただし、中間アンケート時にも感じていたが、学生を寝させない工夫が困難であると思っている。（座学から変更が難しいため） ☒ ラバスの大幅見直しも考慮して検討したい。
ラ	吉井 珠代	公衆衛生学	ほぼ毎回視聴覚教材を使用しているため、「見づらい」や「映像の切り替えや説明をゆっくりしてほしい」、「映像を大きく見やすくしてほしい」等の希望に応えた。 ☒	今回、レポートによる期末試験を実施したが、「授業内容を理解した」と判断できる回答は、ほぼ得られなかった。 ☒ 今後は、授業毎の学生の理解度を確認できるよう、「リアクションペーパー」を活用するとともに、期末試験の「試験問題（回答で何を求めているか）を、学生が理解できるように説明を工夫しなければならない」と思う。 ☒
ラ	伏木 真理子	英語 （英会話A）い	テキストの進行を早くしてほしいとの声があったので、設問の解説のうち、アメリカでの生活や仕事の実体験の話を減らして、文法の解説に集中するようにした。テキスト本文等の和訳がほしいとの声があったので、ユニパにて配信するようにした。	学生の授業評価アンケートの結果は、ほとんど達成できた19%、かなり達成できた44%、達成できなかったは0%だった。学生の成績は、秀が22%、優が57%だった。（習熟度別クラス編成の影響有り。）基本的な英文法の理解促進、日常生活やビジネス分野の語彙習得はできたと思う。予習・復習および課題に当てた時間は、1週間で30分未満が75%だったので、小テストをするなどの工夫をしようと思う。コロナ禍も落ち着いてきたので、席を離れて自由に動きいろいろなクラスメイトと会話をするアクティビティをしてみたところ、全員でテキストを音読する時よりも声が出ていたので、今後もやっていこうと思う。
		英語（英会話A）ろ	テキスト本文等の和訳がほしいとの声があったので、ユニパにて配信するようにした。また、文法の説明を増やすようにした。	学生の授業評価アンケートの結果は、かなり達成できた18%、少し達成できた59%、達成できなかったは18%だった。学生の成績は、秀が9%、優が43%、良が13%だった。（習熟度別クラス編成の影響有り。）基本的な英文法の理解促進、日常生活やビジネス分野の語彙習得は概ねできたと思う。しかし学生アンケートでほとんど達成できなかったが6%あったため、より丁寧な、易しい表現での文法解説が必要と思う。予習・復習および課題に当てた時間は、1週間で30分未満が67%だったので、小テストをするなどの工夫をしようと思う。コロナ禍も落ち着いてきたので、席を離れて自由に動きいろいろなクラスメイトと会話をするアクティビティをしてみたところ、全員でテキストを音読する時よりも声が出ていたので、今後もやっていこうと思う。

	教職員氏名	科目名	問1. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	問2. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
ラ	黒田恭史	文書処理演習Ⅰ (Word) [A]	学生のニーズに応じて、授業のスピードを調整・修正した。	到達目標について、かなり達成できたと考えている。
		文書処理演習Ⅰ (Word) [B]	学生のニーズに応じて、授業のスピードを調整・修正した。	到達目標について、かなり達成できたと考えている。
ラ	佐々木研	ファッションビジネス 概論	講義だけでなく、ワークを中心に授業を展開。	概ね達成している。
		ファッションビジネス 演習	講義だけでなく、ワークを中心に授業を展開。	概ね達成している。
ラ	岡本久仁子	表計算演習Ⅱ	教科書が終わった後は、練習問題を自分のペースで行えるようにした。	真面目に取り組んでいた学生が多く、目標を達成できたと思う。
ラ	倉津三夜子	アロマセラピー (演習含む)	1. 5人中4名から、"授業中、眠くなる。"という記入があった。 ☒ ラックスするから？、アロマの香りのせい？学生たちからもいろいろな意見と改善案があった。 ☒ そこで、授業時間を3つに区切って、2回の7分前後の休憩時間を設けて ☒ 各3パートの学習テーマをホワイトボードに記し、全体の流れを伝えた上で ☒ し方にメリハリをつけるようにした。睡眠傾向は弱まった。 ☒ 過去の授業アンケートでは、良い点について、受講する価値を実習に見出している解答がほとんどだった。 ☒ 年度は、香りについて、そしてアロマセラピーについて、多様な知識やエピソードを学べることを ☒ 業の良い点としてあげている学生が何名もおられた。 ☒ これを受けて、後半の授業ではこの機会に知っておいてほしい ☒ 本カリキュラムに含まれていない要素も伝えるようにした。 ☒ 名のうち4名がJAA認定を受けることを希望されたことから関心の深さを感じられた。	授業評価アンケートへの回答は得られなかった。学生たちに聞いたところ、試験で頭がいっぱいで回答できなかった、との声が帰ってきた。 ☒ れは、私自身が、アンケートに回答するように促すことを怠ったためと思われる。 ☒ 回からは、アンケートに回答することが受講する本人にとって大切な機会であることを伝え、回答を得られるようにしようと思う。 ☒ アンケートへの回答は得られなかったが、最終の授業とJAA認定試験の日に ☒ 講生たちと話して、シラバスに記した達成目標が達成できているかどうか、確認することができた。 ☒ た、出席率、レポート試験の結果からも、授業中に眠気と戦って負けることが多く見られたのにも関わらず ☒ 業の各回で伝えたかった要素は十分に伝わっていたことがわかり、シラバスに記した目標は達成できたことを認識できた。卒業後は仕事の中で、日々の生活の中で、活かしてってもらいたい。 ☒
ラ	森石加世子	心理学演習	授業態度については、心得ているとの意見がありましたので、授業の最初に行う授業態度に対する注意喚起をできるだけ控えるようにしました。それにより、授業態度の良い学生はさらに、良い態度になりました。一方、授業態度に問題のある学生については、注意喚起を行っても変化が見られず残念でした。	シラバスの目標を十分に達成できたと考えられます。
ラ	鶴田美香	色彩の基礎Ⅰ	授業についてこれていない子のフォローに時間を取られていたため、ワークが難しい子を一度に集めワークと説き方を説明した。 ☒ そうする子で他の生徒への時間が十分に確保することができた。	授業への積極的参加が評価に反映されていました。 ☒
ラ	三埜 保	国内観光地巡り	書くことが多すぎるや面倒くさいとの要望があり、筆記することで覚えられたり記憶に残ることも多いと思うが、筆記することを減らすよう地名やポイントだけ記載できるように（ ）内に重要事項を記載し覚えることができるように工夫をした。 ☒	地図を使って観光地名や特産品、位置や交通を理解したり調べることが、早くなった。積極的に授業に参加した結果が見られたと思います。 ☒ 今後は、もっと画像や映像を使いより興味を示すような工夫をしていきたいと考えます。

	教職員氏名	科目名	問1. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	問2. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
ラ	山岡正弘	カフェブランニング	全体の進行後に個別に対応する。	興味の持てる内容と進行の重要性を感じる。今後の課題として、第一回目のオリエンテーションの内容と進行の見直しを必要とする。
ラ	兵頭眞由美	ビジネス実務総論	中間アンケートで、授業に関する良い点として、「わかりやすい」、「授業の進め方のスピードがちょうどよい」「演習問題や小テストがたくさんあり問題を解くことが多いので頭に入りやすい」、「ビジネスのことが学べ、秘書検定試験対策もしてもらえる」、「将来役立つ知識がたくさん学べる」などのコメントをいただきました。また、授業についての改善点では、無記入または「特にない」など☒好評でしたが、さらに学びを深めてもらうよう、小テストや課題での学生さんそれぞれの苦手なところを確認し、細かくアドバイスしながら授業を進めました。☒	アンケートと最終評価によりシラバスの到達目標も達成できたと考えます。☒今後のクラスでも理解を深めてもらえるよう、課題、小テスト、授業の進め方など工夫してまいります。☒
ラ	藤堂隆司	診療情報管理論B (関係法規含む)	中間アンケートでは、これといった問題点は指摘されなかったが、前後半通して振り返りテストを行い、後半は、がん登録演習やパソコンを用いた参加型授業を取り入れるよう工夫した。	学生評価から見たシラバスの達成度では、90%の学生が達成したと回答した。成績の評価も、一人はC評価であったが、それ以外の学生はS及びA評価であった。
ラ	松谷治代	ブレッド&テーブル演習	特に改善を願う内容はなかったため、引き続き、満足感を上げる授業を行った。	授業が6月いっぱいまで終了する為、授業評価アンケートは行っていない。☒学生たちにとって、シラバスの到達目標以上の満足度が得られたと思う。
ラ	黒川圭子	スポーツⅠ	教場である体育館の室温、WBGT値を確認して、実施時間を調整したり、休憩は多めに取り、場所は冷房の効く研究室(事務所の許可確認済み)を利用して熱中症対策には気をつけた。☒ 実施内容は、レクリエーションスポーツを追加したり、学生の意見を取り入れたりしながら、出来るだけ集中力が維持できるように進めた。	基本ルールの理解度は、ほぼ出来ている学生7割程度。実践能力は、個人差はあるが全員成長が見られた。☒ 技術的に低い能力の学生を、フォローする体制が学生同士で自然に見られた。☒ 勝敗を意識した熱のあるプレーや、上手くなりたいと意欲的な学生も見られた。☒ 勝敗だけに限らず、何よりスポーツを楽しむことや自身の体力を知る機会にもなっていたことから、目標は達成できたと考える。☒ 今後とも、学生の得意不得意に考慮しながら、グルーピングや必要に応じて内容を修正し、授業を進めていこうと考える。
ラ	能美 智子	医療事務Ⅲ (DPC含む)	90分のうち間で少し休憩時間が欲しいとの意見がありました。内容が講義中心で集中力が続かないような日は、リフレッシュできるように間で休憩を入れてみました。少しの休憩でも効果があったので次年度も入れてみようと思います。	2名の学生がシラバスの到達で「少し達成できた」と回答しています。成績についてもCの学生がいるため、内容を理解しているかフィードバック時に確認すること、授業を休まないことも含めて指導していきたいと思います。
ラ	瀬口昌生	プレゼンテーション概論	中間アンケートでは特に改善点が挙げられていなかったため、各受講者へのアドバイス・サジェスションを増やすよう心掛けた。	プレゼンテーション実施前の準備段階において、個々の作成時間に差異がある。☒そのため、一律に定めた回で実践に至らせることが多少困難であった。☒しかしながら、早く作成を終えた受講者には更にアドバイスを加えることが適ったため☒定の成果を収めることはできた。

	教職員氏名	科目名	問1. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	問2. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
ラ	杉本 篤史	簿記入門	説明が少し早くなる場所があったので、丁寧にするように心がけた	毎回行う小テストの成績が今までで一番よかった。皆さん頑張ってくれたと思います。
ラ	堂東由佳	実践デザイン演習・色彩の演習	1、油性のインクの臭い対策☑ →今年度は完全に水性インクで授業を行った。☑ 2、待ち時間の対策☑ →制作の各工程をスムーズに行えるよう、学生それぞれの制作スケジュールを随時アナウンスし、記録させるようにした。☑	シラバスの到達目標に概ね到達したと思われます。☑ シルクスクリーンの技術を修得し、丁寧に作業することや、工夫することを学習しました。☑品やオリジナルのグッズ、雑貨制作を通して、学生が自分の生活を豊かにするための選択肢が増えていことを期待します。昨年度よりも「オリジナル」ということに注目し、アイデア出しや構想の時間を多く取ることができました。☑ 今後の課題は、学生によって取り組みやスピードに差があるので、より授業に集中できるよう課題内容を少し変えたり、スケジュール管理をしっかり行っていきたいと思います。☑
ラ	入野遥	バレエⅠ	ポジションの名前と形の一致、その名前の意味や動かす上で意識するポイントなど、バレエは覚えて動かす事が沢山あり、又初心者には踊ってみる事でさえ難しいので、練習材料として私が許可した時のみ動画撮影をしました。☑ 他には、覚える時間を取ったり、一人一人アドバイスをあげたりと工夫しました。	もう少し頑張って貰いたい生徒も居ますが初回に比べるとみんな成長していましたし、基礎は学べたのではないかと思います。☑ 今後は、その学んだ基礎を習得しスムーズに動かせるようになる事を課題とします。
ラ	竹内 和奏	HIP HOP Ⅰ	中間アンケートまでの授業以上に、個々の授業に対する意識を高めるためグループワークの時間を作るよう意識しました。	授業に対する意識が高い学生が多かったので、授業内容であるストレッチ、アイソレーション、筋トレ、基礎練習、そしてグループワークを通して☑想以上に到達目標を達成してる学生が多くいました。☑ンスのグループワークは振り付け、構成を自分たちで制作する時間を設けたのですが☑ら発言することを出来る学生と発言することが難しい学生というところに差があると感じました。☑ この差を少しずつ無くし意見の飛び交うグループワークにすることを今後の課題としたいと思います。
ラ	堀口節子	カウンセリング概論	後方の席の学生がパワーポイントが見づらいとの回答があったので、文字を大きくして文字数を減らしたり、後方の席の照明を暗くして見やすくなるように工夫した。☑ また、文字だけでなく図や表、絵での表現を取り入れ分かりやすい授業を心がけた。授業評価アンケートの結果、9割の学生が「そう思う、ややそう思う」と回答☑ており、改善や工夫が評価されたと考える。	学生の成績は高い学生と低い学生の差が大きく、説明問題や応用問題の解答が低かった。授業評価アンケートでは「ほとんど・かなり達成できた」と5割の生徒は評価☑ているが、4割の生徒は「少し達成できた」の評価になっており、今後、基本的な内容をもっと分かりやすく、応用問題にも対応できるような授業に工夫していきたい。
ラ	篠原富美子	調剤請求	スライドが見えやすいように工夫、レセプト作成時において理解度を高めるため部分拡大した。	週2時間以上取り組んでくれた学生もいて全体的にしっかりと学んでいた。後半理解度が高まっていく様子が多くの学生から感じる事ができた☑ 積極的な参加については、学生の自主性に任せた部分が多かった。今後コメントペーパーを用いたい。
ラ	寺石佳世	健康・栄養クッキング	調理が慣れていない学生さんには、より丁寧に繰り返し説明を行った。	10回のお授業だったので終了した時期が早く、アンケートの回答率が低くなってしまった。☑答率が低すぎて検証しにくいです。



令和6年10月吉日

各 位

四條畷学園短期大学
教学委員長 工藤真由美

学生による「授業評価アンケート」の実施について

平素より本学の教育・学生指導にご尽力賜り、心より厚く御礼申し上げます。
本学では授業改善・教育力向上に向け、授業評価アンケートの実施に取り組んでおり、今年度の実施をお願いする次第です。

授業評価アンケートは、授業到達目標の達成度（学修成果）を基準にして、学生・教員双方が評価することで、授業の課題・改善点を明確にすることを目的としております。また、中間アンケートを実施することで、授業の課題・改善点を浮き彫りにし後半の授業に反映させることで、学生の授業への参加意識を高め、授業到達目標の達成度を高めるねらいがあります。

なお、授業評価アンケート結果に基づく「授業評価アンケート報告書」のご作成と、本学ホームページでの公開も予定しております。あらかじめご了承ください。

何卒趣旨ご理解の上、ご協力賜りますよう、よろしくお願いいたします。なお詳細・日程につきましては、別紙『授業評価アンケート実施要領』をご覧ください。

令和6年10月吉日

授業評価アンケート実施要領

教学委員会

ねらい

- 学生の満足度による授業評価ではなく、授業の到達目標の達成度（学修成果）を基準に
学生・授業担当者双方が評価することで、授業の課題・改善点を明確にする
- 中間アンケートの導入により、学生の授業への参加意識を高める

授業評価アンケート 実施対象

- 専任教員： 担当授業科目のうち 任意の2科目（又は同一科目2クラスでも可）
非常勤教員： 担当授業科目のうち 任意の1科目＝1クラス

※注 複数の授業担当者が15回授業の途中で交代するオムニバス授業は、中間アンケートの結果が反映されないので授業評価アンケートの対象から除外

実施スケジュール

9/9(月)～ ライフデザイン総合学科 9/14(土)～ 保育学科	授業 1回目～	授業の到達目標の周知 ・シラバス記載の到達目標（授業終了段階で、学生にできるようにしてほしい事柄）を学生に明確に示す
10/29(火) ～11/5(火)	授業 8回目頃	授業評価「中間アンケート」の実施 ★1 1. アンケート用紙を授業担当者が学生に配布 （事務室で必要枚数を受け取って下さい） 2. 学生が回答した用紙を授業担当者が回収 *教学委員会に提出は不要です 3. 翌回、学生の意見・要望等をフィードバック、 授業改善に活用する
12/9(月)～20(金) ライフデザイン総合学科 12/18(水)～1/14(火) 保育学科	授業 14～15回目	授業評価アンケートの実施 ★2 ・学生がユニパにログイン、回答する ・アンケート集計結果の閲覧期間 <u>1/17金～2/28金</u> *システム上、学生は結果を閲覧できません
2/18(火) 〆切	成績評価後	授業評価アンケート報告書の提出 ★3 ・授業担当者がユニパにログイン、回答する

★1～3 時期が近づきましたら、ユニパ配信でお知らせする予定です

《中間アンケート》

- 問1 この授業の良い点を具体的に述べて下さい。
- 問2 この授業について改善してほしい点を具体的に述べて下さい。
- 問3 あなたは、授業中の分からないことや不明な点を質問したり調べたりしましたか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまり思わない 4. そう思わない

《最終アンケート》

- 問1 中間アンケートで出された学生の意見、要望に対する取り組みは見られましたか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまり思わない 4. そう思わない
- 問2 この授業は、積極的な参加を促すための工夫（質疑応答、課題の発表、グループワーク、コメントペーパーなど）がされていましたか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまり思わない 4. そう思わない
- 問3 この授業の予習・復習および課題に当てた時間は、1週間でどのくらいですか。
1. 2時間以上 2. 1～2時間 3. 30分～1時間 4. 30分未満
- 問4 この授業のシラバスに示されている到達目標をどの程度達成できたと思いますか。
1. ほとんど達成できた（90～100%） 2. かなり達成できた（80～89%）
3. 少し達成できた（70～79%） 4. あまり達成できなかった（60～69%）
5. ほとんど達成できなかった（59%以下）

《授業評価アンケート報告書》

（各欄 300 字以内）

- 問1 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。
- 問2 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい（今後の課題も含む）。



授業評価アンケート（中間アンケート）

このアンケートは、履修生の学修成果を上げるため、授業をより良くする目的で実施するものです。記述内容は成績評価に関係しません。

問1 この授業の良い点を具体的に述べて下さい。

問2 この授業について改善してほしい点を具体的に述べて下さい。

問3 あなたは、授業中の分からないことや不明な点を質問したり調べたりしましたか。（あてはまるもの一つに○をつけて下さい）

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまり思わない 4. そう思わな

各 位

四條畷学園短期大学
副学長・教学委員長 工藤真由美

授業評価アンケートの実施および報告書ご提出のお願い

平素より本学の教育・学生指導にご尽力賜り、心より厚く御礼申し上げます。

今期授業も終了に近づいて参りました。「中間アンケート」を実施した科目（クラス）につきまして、授業評価アンケートの実施を下記の通りご案内申し上げます。

校務ご多忙の折大変恐縮ではございますが、授業改善・教育力向上に向けご協力の程何卒よろしくお願い申し上げます。

記

実施期間 : 授業回数 14 回目もしくは 15 回目（保育学科：12/18～1/14、
ライフデザイン総合学科 12/9～20；補講の場合含む）
※年間行事予定・ユニパの出欠管理で授業回数の確認ができます

実施対象科目：「中間アンケート」を実施した科目（クラス）

実施方法 : p2 マニュアル：学生用【授業評価アンケートの回答方法】参照
※授業評価一覧には、学生の履修授業がすべて表示されます。
教員の指示する授業科目のみに回答させて下さい。

結果の閲覧：p3 マニュアル：教員用【授業評価アンケートの閲覧・授業評価
アンケート報告書の回答方法】参照
※実施科目以外の科目名が表示される場合がありますが、学生が
間違えて回答したものです。学生は結果を閲覧できません。

※授業評価アンケート

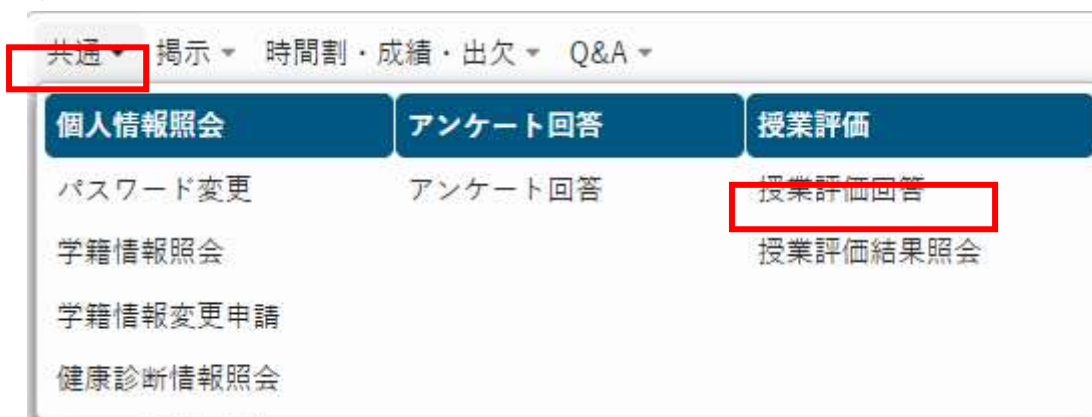
結 果 閲覧期間： 1/17(金)～2/28(金)

報告書 作成期限： 2/18(火)

※ユニパのアンケートに回答する形での報告書作成となります。授業
評価アンケートの結果について、中間アンケート・学生の成績（学修
成果の状況）と関連づけ、ご考察下さい。

学生用 【授業評価アンケートの回答方法】

- ①パソコンまたはスマートフォンから UNIPA へログインします。
- ②「メインメニュー」⇒「共通」⇒「授業評価回答」を選択します。



- ③回答する「授業科目名」をクリックします。
- ④アンケート内容が表示されますので、全ての問いに回答してください。
- ⑤すべての回答が終了したら、下部にある「回答」ボタンをクリックしてください。

UNIVERSAL PASSPORT

教員向け授業評価アンケート閲覧方法

授業評価プレビュー

回答期限：2023/01/14(土) 23:59

提出人：FD委員会

【短期大学】授業評価アンケート（2022年度 後期）

授業評価アンケートです。回答をお願いいたします。

1.
問1 中間アンケートで出された学生の意見、要望に対する取り組みは見られましたが。

☐ そう思う ☐ ややそう思う ☐ あまり思わない ☐ そう思わない

2.
問2 この授業は、積極的な参加を促すための工夫（質疑応答、課題の発表、グループワーク、コメントペーパーなど）がされていたか。

☐ そう思う ☐ ややそう思う ☐ あまり思わない ☐ そう思わない

3.
問3 この授業の予習・復習および課題に当てた時間は、1週間でどのくらいですか。

☐ 2時間以上 ☐ 1～2時間 ☐ 30分～1時間 ☐ 30分未満

4.
問4 この授業のシラバスに示されている到達目標をどの程度達成できたといえますか。

☐ ほとんど達成できた（90～100%） ☐ かなり達成できた（80～89%） ☒ 少し達成できた（70～79%） ☐ あまり達成できなかった（60～69%） ☐ ほとんど達成できなかった（59%以下）

ありがとうございました。

回答

授業評価アンケート結果を確認する。

①
メ
イ
ン

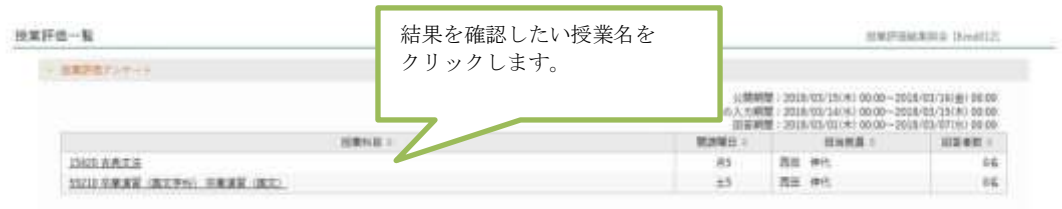
UNIVERSAL PASSPORT

授業評価アンケート報告書 作成方法

メニュー → 授業関連 → 授業評価結果照会を開きます。



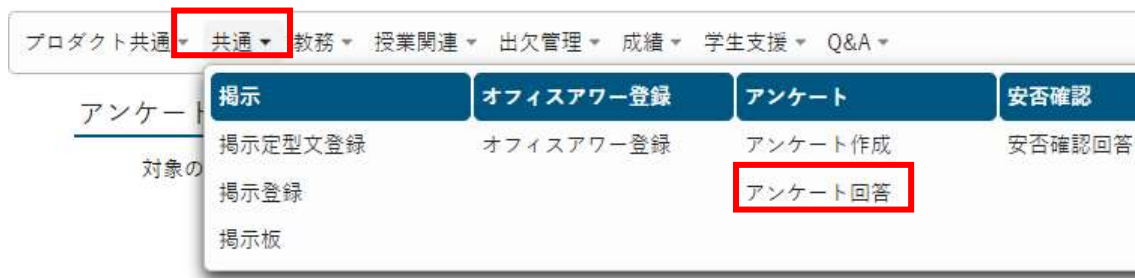
②【授業評価一覧】画面が表示されます。



③授業ごとの集計結果が表示されます。(以下の結果はサンプルです)



①メインメニュー → 共通 → アンケート → アンケート回答を開きます。



②授業評価アンケートを実施された科目についてご入力ください。

アンケート実施科目

1 科目・・・項目1～8まで

2 科目・・・項目1～16まで ご回答ください。 よろしく願いいたします。

A screenshot of a web application's survey preview page. The page title is 'アンケートプレビュー'. The main content area is titled '【短期大学】授業評価アンケート報告書'. Below the title, there is a message: '授業評価アンケートを実施された科目についてご入力ください。 よろしく願いいたします。'. The form contains several input fields: 1. 【年度】 (Year), 2. 【学期】 (Semester), 3. 【授業コード】 (Class Code), 4. 【科目名】 (Subject Name), 5. 【お名前】 (Name). Below these fields, there is a section for questions: '以下の質問にお答え下さい。(各300字以内でお願いします。)' (Please answer the following questions. (Please answer within 300 characters for each.)). The first question is: '1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。' (Please describe the reason for selecting this subject (class) as the target of this class evaluation survey.). The page also shows a '回答期限' (Response Deadline) and a '提出人: FD委員会' (Submitted by: FD Committee).

回答後は、下部【回答】ボタンを押して終了してください。

2024年度後期 「授業評価アンケート」 報告書

	教職員氏名	科目名	問1. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	問2. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
保	合田 誠	卒業ゼミ	中間アンケートでの改善要望は、課題が多く、その提出期限が短いとの要望があった。確かに、「児童虐待」に関して、学んで欲しい課題は山積しているので、多いという指摘は分からないでもない。提出期限のことも考慮して、今後対応すると返答しておく。次に教室の座席について、隣同士が近すぎて窮屈であるとの指摘があった。これに関しては、翌週の授業から、一つ飛ばしでの座席指定に変更した。	問2の「積極的な参加を促すための工夫」については殆どの受講生が「そう思う」、もしくは「ややそう思う」を選択してくれていた。「ゼミナール」の基本はまさに主体的に参加して、自らが問題意識を醸成することを主眼に置いていると考えているので、今後もこの「主体的参加を促す」姿勢は継続していきたい。問3「予習・復習」については「1～2時間」が最も多く、課題をこなすための時間としては妥当な結果であるといえる。 ☒ 「到達目標」の達成度についても殆どの受講生が「達成できた」との評価をしている。最終の「卒業研究レポート」の内容を精査すると、その意味合いが理解できる内容となっている。
		保育実習指導Ⅲ	要望として、最も多いのが「書く量が多い」であった。これは、ほぼ毎回の課題レポート（感想、振り返りも含む）を課しているためかと思う。この点については受講生に「保育実習Ⅰ（施設）」で学べなかった施設の本質的な課題をこの機会にしっかりと学んでもらい、実習に臨んでもらいたいためにと返答し、一応の理解を得ている。次年度は「Googleフォーム」の活用が認められたので、可能な範囲でGoogleフォームを活用していきたい。 ☒ その他、パワポのスライドの文字が多く記載されて、かつ種々の「色」が使われているため、どの点が重要かが分かりにくいとの指摘があった。この点に関しては、後半授業のスライドを改善した。	問2の「積極的な参加を促すための工夫」については殆どの受講生が「そう思う」、もしくは「ややそう思う」を選択してくれていた。1年次の「保育実習指導Ⅰ（施設）」の授業は施設を理解するための基本的知識の習得を重点に置いたため、本来の施設に対する問題意識を高めるために、施設が抱える現状と課題を理解してもらう内容が中心となった。今後もこの「主体的参加を促す」姿勢は継続していきたい。問3「予習・復習」については「30分～1時間」未満が最多で、課題内容が受講生にはそれほど負担になっていないことが分かった。 ☒ 「到達目標」の達成度についても殆どの受講生が「達成できた」との評価をしている。その集大成が「保育実習Ⅲ」であり、事後学習で、受講生の課題到達度を発表してもらったが、概ね課題到達ができた発表であったので、シラバスにおける「到達目標」が達成できたと読み替えることができると思われる。
保	鍛冶谷 静	子ども家庭支援の心理学（1・2・3組）	改善してほしい点についての要望がほとんどなかったが、学生から評価してもらったスライドと説明の分かりやすさを最後まで心掛けた。	学生の自己評価と実際の成績にほぼ差はなかったが、資料の読み取りや総合的な考察について課題が残る。教授内容が多岐に渡る講義科目であるが、知識の定着や活用につながるような演習的な内容に取り組む時間を捻出できるよう15回の授業構成
		子ども家庭支援の心理学（4・5・6組）	改善してほしい点についての要望がほとんどなかったが、学生から評価してもらったスライドと説明の分かりやすさを最後まで心掛けた。	学生の自己評価と実際の成績に若干の差が見られた（自己評価が若干高い）。他クラスと同様に資料の読み取りや総合的な考察について課題が残る。教授内容が多岐に渡る講義科目であるが、知識の定着や活用につながるような演習的な内容に取り組む時間を捻出できるよう15回の授業構成を見直していきたい。

	教職員氏名	科目名	問1. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	問2. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
保	阪野 学	子ども家庭福祉 (1・2・3組)	授業内容の習熟と文章力の向上を目的にシャトルシートを課している。学生の中にはシートの提出が負担であるとの声もあったが、本科目は2単位であり学外学修時間が毎週4時間必要となる。アンケート結果から学生が予習・復習及び課題に当てた時間は、30分未満が12人、30分～1時間が9人、1～2時間7人、2時間以上1人となっており17/29(約59%)の学生が30分を超えているが、後の41%は30分以内であった。そのことからそれ程学生に大きな負担はないと確認することができた。今後も学外学修時間との兼ね合いを勘案しながら取り組んで行きたいと考えている。 また、毎回のシャトルシートに学生の要望を記載させその都度改善の取り組みを行ってきた。そのためアンケートには平素の授業で要望に対応しているため取り立てて特筆されるものはなかった。 シャトルシートの学生の要望には、必ず次の授業から取り入れて対応をした。対応できない場合についてはその理由について説明を行った。 要望の例としては、パワーポイントの見やすさ、後半時間が無くなり授業が駆け足になる、授業資料の配布などの要望があった。	上記のとおりシャトルシートの活用により課題の提出及び再提出をさせ、学生の学びを深めさせると同時に学生の学外学修時間の確保に努めた。そして、約82%の学生を次第点として評価することができた。そして、18%の学生が再試験を受ける結果となった。評価の平均点は66点であった。 また、アンケート結果から28名約97%の学生が達成できた(少し～ほとんど)と回答し、1名約3%の学生が達成できなかった(あまり～ほとんど)と回答した。よって概ねシラバスの到達目標の達成はできたと判断することができる。 今後の課題としては、毎回の授業でシャトルシートの提出ができる様に学生の意識を高めさせ、同じく毎回のシャトルシートにおいて学生の要望を聞き授業改善に努めていきたい。
		子育て支援 (4・5・6組)	授業内容の習熟と文章力の向上を目的に毎時間課題としてシャトルシートを課している。学生の中にはシートの提出が負担であるとの声もあったがアンケート結果から学生が予習・復習及び課題に当てた時間は、30分未満が6人、30分～1時間が12人、1～2時間4人、2時間以上1人となっており17/23(約74%)の学生が30分を超えているが、後の6人(約26%)は30分以内であった。そのことからそれ程学生に大きな負担はないと確認することができた。今後も学外学修時間との兼ね合いを勘案しながら取り組んで行きたいと考えている。また、毎回のシャトルシートに学生の要望を記載させその都度改善の取り組みを行ってきた。そのためアンケートには平素の授業で要望に対応しているため取り立てて特筆されるものはなかった。 シャトルシートの学生の要望には必ず次の授業から取り入れて対応をした。対応できない場合についてはその理由について説明を行った。 要望の例としては、パワーポイントの見やすさ、後半時間が無くなり授業が駆け足になる、授業資料の配布などについて要望があったので対応した。	上記のとおりシャトルシートの活用により課題の提出及び再提出をさせ学生の学びを深めさせると同時に学生の学外学修時間の確保することに努めた。そして、約86%の学生が次第点として評価することができた。そして、14%の学生が再試験を受ける結果となった。評価の平均点は71点であった。 また、アンケート結果からは21名約91%の学生が達成できた(少し～ほとんど)と回答し、2名約9%の学生があまり達成できなかった(ほとんど達成できなかったは0)と回答した。概ねシラバスの到達目標の達成はできたと判断することができる。 今後の課題としては、毎回の授業でシャトルシートの提出ができる様に学生の意識を高めさせ、同じく毎回のシャトルシートにおいて学生の要望を聞き授業改善に努めていきたい。

	教職員氏名	科目名	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。
保	森 麻希子	幼児と音楽Ⅳ (1・2・3組)	・ピアノ個人レッスンの時間が減ったことが複数名から挙げられた。後半の授業ではピアノ自習時間を増やすことで対応した。☑ ・合唱時に仲が良い子が固まると私語があるため、出席番号順にしてほしいと要望があり対応した。☑	履修者33名のうち23名が回答。☑生の自己評価と達成状況について大きな差異は見られなかった。☑ 就職や実習に向けて個人レッスンの時間を重視している学生が多いが、限られた時間の中で充足感を得られるようにするにはどうすればよいか引き続き検討する必要がある。☑
		幼児と音楽Ⅳ (4・5・6組)	中間アンケートについて、学生からの改善要望は「特になし」がほとんどであった。「出席確認が少し早い」という意見がみられたが、規定通りに出席確認していることを全体に説明し、理解を求めた。	履修者25名のうち16名が回答☑学生の自己評価について「ほとんど達成19%、かなり達成50%、少し達成25%、あまり達成できなかった6%」、評価割合はそれぞれ順に「ほとんど12%、かなり44%、少し40%、その他4%」という結果になった。少し達成については自己評価と成績に差がみられる形となった。週の中日1限からの授業だったため欠席が目立つ学生が複数名みられた。グループ活動を多く取り入れ、授業内発表を行ったが、学生が参加したいという意欲を継続できるような仕掛けを今後も検討していきたい。☑
保	阪江 豪	幼児と言葉 (1・2・3組)	学生が理解、イメージしやすいよう、具体的な子どもや保育者の姿を交えて話をした。	概ね到達できたと感じるが、理解の差が大きい部分もみられるため、丁寧な授業を心がける。
		幼児と言葉 (4・5・6組)	学生が理解、イメージしやすいよう、具体的な子どもや保育者の姿を交えて話をした。	概ね到達できたと感じるが、理解の差が大きい部分もみられるため、丁寧な授業を心がける。
保	松下 明日香	保育者論 (1・2・3組)	中間アンケートでは、事例を通じて現場の状況を想像しながら自分ならどう対応するのかを考えたり、グループワークで意見交流ができることが良いというコメントが多数寄せられた。☑ 学生の学びが大きいことから、引き続き学生自身が考え、それを発信し、他者の意見を聞いて気づきが得られるような時間を多くとるようにした。	ほとんど達成できた、かなり達成できたと回答した学生が75%程度であるので、おおむね目標は達成できたとと言える。☑ ただし、あまり達成できなかったと感じる学生（1名）もいることから、学生の理解状況を把握しながら、個別の声掛けやフォローなど細やかに配慮していきたい。
		保育者論 (4・5・6組)	事例を使ったワークや自分の意見が言える機会があること、タスク管理を通じて課題の振り返りができることなどがよいというコメントが多かった。☑ 意見交換の際に、ペアではなくグループにしてほしいという意見もあり、グループで交流する機会を増やしたり、毎度同じペアにならないようにしたり、グループ分けの際に困っている学生がいないか等、学生の様子を気を付けてみるよう心掛けた。	ほとんど達成できた、かなり達成できたと回答した学生が70%程度であるので、おおむね目標は達成できたとと言える。☑ ただし、あまり達成できなかったと感じる学生（1名）もいることから、学生の理解状況を把握しながら、個別の声掛けやフォローなど細やかに配慮していきたい。

	教職員氏名	科目名	1. この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。
保	吉井 珠代	子どもの保健 (4, 5, 6組)	当該授業は5時限目であり、廊下も薄暗くスクリーンが見にくいとの回答があったため、中間アンケート実施後は、その要望に応え、「スクリーン画面に映す資料や映像の見えやすさ」について、学生に確認しながら教室の照明を調整したり、資料の重要ポイントに引くラインマーカーの色を変更するなどの改善を図った。幸い、今回のアンケート問1の結果は、“そう思う 37.5%”、“ややそう思う 54.2%”で、計92%であった。	当該授業は新カリキュラムとなり授業時間数が減少していたので、重要ポイントをかなり工夫して説明する必要性が出ていたが、採点結果の平均点は私の予想より低く出た。学生の回答結果も、“ほとんど達成できた 25%”、“かなり達成できた 46%”にとどまっていた（眠る学生も多かった）ため、反省点も多い。次年度は学生の関心を高められるように改善・工夫が必要だと痛感した。
保	竹歳 賢一	情報機器演習 (4・5・6組)	教室が縦長で、後ろの座席は説明用のスクリーンが見えにくいという指摘があったので、スクリーンに提示する情報は拡大するなどして工夫をした。	到達目標：「情報機器を活用した効果的な授業（遊び）や情報活用能力の育成を視野に入れた適切な教材の作成・活用に関する基礎的な能力を身に付ける。」について、概ね達成できている。☑ 今後の課題として、アプリケーションソフト利用スキルなどの情報活用能力について、履修開始時に個人差があり授業内の演習課題の取り組みに影響する場面があったので授業方法等の工夫をおこないたい。
保	小川 健二郎	社会的養護Ⅰ (1, 2, 3組)	鍛冶屋先生の公開授業を参観し、教科書の重要なポイントに特化したパワーポイントでの表示を工夫した。	概ね理解度高く成績にもつながっている。☑ より卒業後の進路を意識した現場の実践を伝えていきたい。
		社会的養護Ⅰ (4, 5, 6組)	鍛冶屋先生の公開授業を参観し、教科書の重要なポイントに特化したパワーポイントでの表示を工夫した。	概ね理解度高く成績にもつながっている。☑ より卒業後の進路を意識した現場の実践を伝えていきたい。
保	田端 拓哉	社会心理学	改善を求める記載がなかったため、引き続き同じ進め方で授業を行いました。	具体例や研究結果から抽象的な理論の理解につなげることが、一部を除いて難しい様子でした。さらに内容を減らして、理解度を高めることに注力する必要があるかと考えました。
保	保科 和久	社会福祉概論	進行ペースを少しゆっくりにした。	本年は、目標に到達出来た。
保	堀口 節子	教育相談 (1・2・3組)	スライドの文字を大きく、表や図を用いて分かりやすい表示や説明を心掛けた。	中間アンケートの取り組みについての評価は「ややそう思う・そう思う」と87%の学生が回答しており、概ね評価されたと考える。また、シラバスの目標達成度は、☑%の学生が70%以上達成できたと回答しており、概ね達成できたと思う。今後も楽しく分かりやすい、実際に役に立つ授業を目指して行きたいと思う。

	教職員氏名	科目名	問1. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	問2. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
保	山田 千枝子	教育方法・技術論	グループワークの方法がうまくできていないとの回答があった為、kj法をとりいれてわかりやすく具体的に行うようにしました。☑	個人差がかなりあります。着実に一つ一つ目的に達成できている学生もいます。
保	山崎 久子	在宅保育 (1・2・3組)	アンケート結果にて「テキストにもっと触れて欲しい」というリクエストがあった為、☑りテキスト中心の授業展開を行いました。また、各回の課題に対する取り組みも、丁寧に☑を通すように心がけました。	今年度は履修者全員が科目試験を受験し、再試験の成績となった学生は不在でした。☑かし、途中で欠席超過の為、離脱する学生が4名となったのは担当者として大いに反省すべき☑です。☑ アンケート回答を学生に依頼したときには、複数課題と同時だった為か回答数が少なく、☑葉がけの重要性を痛感し、猛省しております。
保	大庭 夕穂	2112022 英語 (英会話B) (4・5・6組)	・「スライドが早い、もう少し遅くしてほしい」という意見に対しては、学生が板書する時間を十分にとれているか、授業の内容についてこられているかを確認しながらスライドを進めるようにしました。☑ ・「間違ったら恥ずかしいので、当てないでほしい」という意見に対しては、当てることの意義を説明した上で、引き続き実践しました。答えを出すまでに学生同士で調べたり相談する時間を設けたことで、協力し合って課題に取り組む姿勢が見られました。☑ ・「寝ている人がいるので楽しい授業にしてほしい」という意見に対しては、「理解できないから授業がつまらない」という状況を防ぐために、授業時間内に復習の機会を設けました。知識が増える喜びや達成感を味わってもらえるよう、小テストを隔週に設定しました。また、保育の実体験や子育ての経験談を盛り込んで、学生が飽きないような授業の進行を考えました。さらに、知識を保育現場で活用できるよう、英語で工作やお絵描きをしたり歌を歌ったりといった時間を設け、テキストで学習したことを実践に落とし込む工夫をしました。	本科目では、テキストの内容に即した問題に答えられるだけでなく、そこから派生して自分の意見を述べたり創造的に考えることができるような活動を行いました。アンケート結果と成績の両方を鑑みて、シラバスの到達目標は概ね達成できたと考えます。一方で、シラバスの達成目標を「あまり達成できなかった」と回答した学生も一名いました。取り残されたと感じる学生が出ないように、授業展開を改めて練り直すことが今後の課題です。
保	福鹿 慶子	乳児保育Ⅱ (1.2.3.4.5.6)組	パワーポイントを使って授業する中、大事な部分がわからないとの事だったので、とくに大事な部分には赤色や、目立つように記入。また、口頭で大事だと強調して伝えた。	学生の自己評価は、ほぼできていたとの回答であったが、やはり居眠りをする学生が多く見受けられ、居眠りしている学生は、レポートやテストの回答が不十分であったので、眠気がこないような楽しい雰囲気での授業を受けることができるように工夫していきたい。
保	辻本 有里恵	保育内容総論	・パワーポイントを使う際に、舞台の照明を暗くして学生が見えやすいように改善した。☑ ・演習の授業では、出来るだけ個別対応を心掛け、自分から声をかけられない学生がいることも考慮して、ひとりひとりに声をかけて回るようにした。	・概ね達成できた。ただ、持ち込み試験にしたことから点数が取れたようにも思うので、今後、試験にするのであれば、もう少し自分の意見を書かせる問題を増やしていきたい。

	教職員氏名	科目名	問1. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	問2. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
ラ	工藤 真由美	教養の文学	特に要望がなかったので、できるだけ学生の要望をアンケート収集時以外にも聞くように努めた。よって満足度は100%であった。	授業に対して学生は楽しみながら受講していたので、毎回意見を述べるなど積極的に参加できており、自己評価でも「積極的に参加した」が100%であった。予習復習に関しても、教員が提示している予習復習は30分程度だが、1～2時間の学生が33%、30分程度が66%と概ね指示通りであった。 また、到達目標に関して、ほとんど達成が33%、かなり達成が66%である。実際の学修成果と同等か少し下方気味に自己評価しているようであった。学生は熱心に取り組み、その分授業について高く評価していた。今後も学生のニーズをくみ取りながら状況に応じた授業進行に努めたい。
		くらしと教育	中間アンケートでの要望がなかったので、毎回学生のニーズに注意を払うようにしていた。よって、満足度は100%であった。	学生は毎回の課題や、ビデオ視聴後の意見交換で積極的に発言していた。よって、積極的な参加に関して、そう思うが83%、ややそう思う17%で合計100%であった。それは教員の評価と一致している。また、予習復習に関しても、提示している30分に対して、1～2時間が50%、1時間が17%、30分態度が33%でしっかりと達成できていた。 授業の到達目標に関しては、ほとんど達成が17%、かなり達成が67%で合計84%と高い数字を示している。実際の学修成果に関しても同様の傾向を示しており、自己意識との齟齬は見られない。好評であった、講義、ビデオ視聴、話し合い、まとめ、反転学習、PBL、などを今後も積極的に活用していきたい。
ラ	中川 玲子	子どもの食と栄養 (Cクラス)	・ PowerPointを送るタイミングが早すぎないか、学生の様子を注意深く確認しながら進めるようにした。☑ ・ 説明の箇所と、教科書の該当ページの説明を、細かに行うようにした。☑ ・ 宿題の回答の仕方が難しいと感じる学生には、個別対応した。	全員が達成されたと答えた。達成度については、「ほとんど達成できた」と「かなり達成できた」と回答した学生は回答者の7割、「少し達成できた」と回答した学生が3割だった。今後は、達成度の向上を課題とし、「少し達成できた」0%を目標に、改善・工夫したい。
		食の科学B	改善してほしい点について、学生からの要望は特なかった。学習意欲を高めるため、予習や、自主的に学べる課題を取り入れ、発表と解説の機会を増やし、参加型の授業への工夫を行った。	全員が達成できたと回答し、「ほとんど達成できた」43%、「かなり達成できた」57%、「少し達成できた」0%と、達成度も高かった。今後も達成度の高い学びが維持できるよう継続して取り組みたい。

	教職員氏名	科目名	問1. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	問2. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
ラ	伊東めぐみ	医師事務作業補助 実務演習	アンケート結果に改善してほしい点についての記述はなかったのですが、よい点として挙げられていた内容に、「スライドが授業内容をわかりやすくまとめられていて振り返りに使える」といったことが複数の学生からありました。この授業は授業内テストとして中間と最終の2回テストがあり、そこで80%の評価がつきますが、このテスト対策として、授業スライドの資料を活用して復習をすることにより学習内容の定着が図れるため、今後さらに授業スライドを充実させていきたいと考えております。	この科目の学生の成績は、優以上の評価獲得者が9名中6名でした。このことから、三分の二以上の学生がシラバスの到達目標に十分達していると考えます。残りの3名の学生は、可と良で、不可の学生はいなかったものの、これらの学生に向けた改善点としては、記憶や記載する内容が多い科目であることから、授業内での演習に関して個別の指導時間を増やし、履修生全員の足並みを揃えるところを意識していくことが必要だと考えます。履修者数が少人数になることが多い科目ですので個別の指導が可能だと思われます。
		医療事務のための 医学知識1	改善してほしい内容に、「授業プリントの記載箇所が狭く、書きにくいので大きくしてほしい」といったことが複数の学生からありました。この授業は毎回スライドを印刷した授業プリントを配布しているのですが、確かに狭い記載箇所がありましたので改善しました。情報量がどうしても多くなってしまうのですが説明文を端的にわかりやすくすることでスペースを確保しました。	この授業の評価は履修生19名中7名が優・秀以上で、約4割の学生が到達目標に十分到達しているという結果でした。不可の履修生の人数については、コロナ、インフル等のために定期試験を受験できなかった学生を除くと1名でした。その結果からみるとほぼ全員が到達目標のボーダーライン以上であると考えられます。この授業は知識を記憶していくことが求められるため、理解しやすく記憶しやすい説明や資料が求められていると考えます。今回アンケートの結果から改善した授業資料の充実をさらに進めていくことで、学生の習熟度を上げられるようにしたいと思います。
ラ	安谷 元伸	卒業ゼミ（基礎）	中間アンケートの改善要望として「作業量を減らして欲しい」というものがあったため、作業過多にならないよう作業時間のゆとりなどを確保して後半の授業を展開した。	アンケートの結果では、問1及び問2共に「そう思う」67%、「ややそう思う」33%の100%であった。一方、問4の目標達成の項目では「ほとんど達成できた」が56%、「かなり達成できた」が33%、「少し達成できた」が11%と他の質問項目と異なる結果が見られた。コンピュータを用いる実技の内容であるため、作業内容が得意分野ではない学生でも十分に達成感を感じられるように次年度には作業に多様な要素や工夫を取り入れていきたい。☑
		情報倫理	中間アンケートの改善要望として「パソコンが重い」という意見が1点寄せられた。パソコンを使うのは授業後半になるので、授業の早い段階からログインして授業を進めるよう展開した。☑	アンケートの結果では、問1及び問2共に「そう思う」60%、「ややそう思う」40%の100%となった。また、問4の目標達成の項目についても「ほとんど達成できた」が40%、「かなり達成できた」が60%の100%となった。ただ、問4では「ほとんど達成できた」の割合が「かなり達成できた」より低くなっており、他の質問項目と比率が逆転していた。次年度には比率構成がこのような逆転現象を生じさせないよう内容を吟味して学生がさらに達成感を感じられる授業を展開していきたい。

	教職員氏名	科目名	問1. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	問2. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
ラ	久保 覚司	ICDコーディング演習2	配布プリントについて指摘があったため、形式を変更した。☑ 実際の講義時には反応が良かった（書き込みやすくなった）とのことだった。	比較的到達したと思う。☑ 医学寄りの内容であり非常に難しいのだが、シラバス通りに進めることができた。
		医療事務 コンピュータ演習2	机間巡回を徹底した。☑生に対して平等に対応したつもりであったが、理解できていない学生に付きっきりになりがちとのことだった。☑のため、比較的理解できている学生に対しても積極的に声掛けしていき、理解度を確認することができた。	シラバスについては概ね到達できたと思う。☑ 学生により理解度に大きく差が出る結果となってしまったため、課題（宿題）の量等をもっと工夫すべきだったと思う。☑
ラ	中川明仁	臨床心理学	中間アンケートにおいて、配布資料のノート欄が小さいとのコメントが散見された。☑のため、配布資料のサイズを拡大し、ノート欄も大きくなるように改善した。☑	授業に出席しノートを取っている受講生の成績は概ね良好であった。☑ 本授業は検定試験対策を兼ねた授業でもあるため、指定した教科書に沿って☑業を進めた。シラバスも試験対策につながるよう作成されている。☑たがって、必然的に系統だった授業である必要もあるため、シラバスの☑達目標は達成できていると考えている。
		恋愛の心理学	中間アンケートにおいて、配布資料のノート欄が小さいとのコメントが散見された。☑のため、配布資料のサイズを拡大し、ノート欄も大きくなるように改善した。	授業に出席しノートを取っている受講生の成績は概ね良好であった。☑ 授業内では試験に出題する箇所を明言しながら進めていたため、授業に出席して☑の情報メモしていた受講生には試験対策もしやすかったはずである。☑ラバスの到達目標については、概ね達成できていると考えている。
ラ	林 真千子	子どもの食と栄養（Aクラス）	学生から要望があった以下の2点について主に改善に努めました。☑ 学生が意見を述べる機会（グループワーク等）をもう少し増やして欲しいことについては、学生から意見を聞いたり授業内で発表の機会を多くとるようにしました。☑ パワーポイントでの授業説明に対する要望については、フォントの大きさ・字体を変更し見やすくしました。また、学生が書き終わるのを少し待ってから説明し、☑授業内容の理解度の向上に努めました。	中間アンケート以後授業の改善を行ったことから、ほとんどの学生からは満足感が得られ、シラバスの到達目標にほぼ達成できたように思われました。☑かし、筆記試験結果からは授業内容の理解度がやや劣る学生も見受けられました。☑ 今後の課題としましては、学生が授業に興味をもてるような授業展開に努めること、そして授業内容の理解度を向上させる更なる工夫が必要であると考えます。
		食品・食材の知識A	学生からの要望は特にありませんでしたが、授業の理解度を向上させる為に食品・食材の実物を見せたり、自身の食生活に活用しやすい内容を論述し、☑ 学生の授業への積極的な参加を促しました。☑	授業評価アンケート及び学生の成績から、シラバスの到達目標にほぼ達成できたように思われました。☑かし、授業内小テスト結果からは授業内容の理解度がやや劣る学生も見受けられました。☑ 今後の課題としましては、学生が授業に興味をもち積極的に参加するように導く授業展開に努めること、そして授業内容の理解度を向上させる更なる工夫が必要であると考えます。☑

	教職員氏名	科目名	問1. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	問2. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
ラ	岡本 久仁子	表計算演習Ⅱ	中間アンケートでは、授業方法についてよい評価を得たので、そのまま続けた。	アンケートでは目標をあまり達成できなかったと回答した学生が一人いたが、テスト結果などを合わせて成績評価したところ、全員がよい点数をとることができた。☑ 今後はつまづきやすい課題など、補助教材で工夫していきたい。
ラ	田尻 良	マルチメディア論	中間アンケートの結果がよかったので、授業内容を継続した。	読解力、文書作成能力の低い学生にレポートを書かせるための工夫がもっと必要であると感じている。
		マルチメディア演習	中間アンケートの結果がよかったので、授業内容を継続した。	自分で映像作品を構成するアイディアを考える力の弱い学生にアイディアを思いつかせるための方法をもっと考えておこうと思う。
ラ	鶴田 美香	パーソナルカラー	生徒からの意見はとくに要望としてはあがっておりませんでした。☑ 授業の遅れが見受けられる生徒には引き続き、課題の手伝いをおこないました。☑ 出来ない子に集中しすぎないように注意し、課題を自分で進められる子にも声掛けを積極的に声かけをおこなった。	概ね、授業の目標達成は評価は良いと思います。☑ 自己理解は深めることに欲求が高いように思いますので、個人個人の自分に合うファッションについての取り組みを増やしていきます。
ラ	寺石 佳世	調理学演習	中間アンケートを実施し、回答が3名。☑善してほしい点は何もなかったので、引き続き、わかりやすく伝えられるよう努めました。	どの学生さんも熱心の実習に取り組み、技術のレベルが上がったと感じます。☑ 始めは苦戦していた盛り付けも、最後はきれいに仕上げられるようになりました。
ラ	黒田 恭史	文書処理演習Ⅱ (Word)	受講生の進度に応じて対応を工夫した。	今回は、かなり内容理解がなされ、技能習得も良好であった。
ラ	兵頭 真由美	ビジネス文書	中間アンケートでは、改善してほしい点は、一部『白紙』を除き、全員から「ない」との高評価をいただきましたが、課題の添削や小テストの採点から苦手なところを確認し、学生さんそれぞれにフィードバックを行い、苦手なところを改善できるよう、アドバイスしながら授業を進めました。☑	授業評価アンケートと成績評価により、シラバスの到達目標も達成できたと考えます。☑後のクラスでも、お一人でも多くの学生さんに理解を深めてもらえるよう、課題の添削や小テストの採点とフィードバックや授業の進め方などのさらなる工夫を行ってまいります。☑
ラ	佐々木 研	ファッション ビジネス実務	ワークを中心とした授業を実施。	業界理解は深まっている。
		ファッション ビジネス総合演習	プレゼンやワーク、撮影など実践をメインに授業を実施。	業界理解や関心度は深まっている。

	教職員氏名	科目名	問1. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	問2. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
ラ	三 埜 保	国内観光地巡り	難しい法律用語なども含めわかりやすく視覚や例を多く取り入れました。	一部の学生を除いて概ね達成することができたと思われます。今後の課題として、その一部の学生を生み出さないようにより興味を持つことができるよう視覚や作業を取り入れていきたいと思います。
ラ	藤 堂 隆 司	診療情報管理論A	中間アンケートでは、学生からの授業に対する要望や意見はなかった。授業の進行のスピードには気を付けた。要望に対する取り組みについては、思うと回答した者は100%であった。	成績はS16名、A1名、B1名、C2名となり、全員が合格した。シラバスの到達目標については、達成したと回答した者は15/16名であった。
ラ	数 藤 晶 子	食空間のデザインと演出	授業について、改善が必要な意見などは特にありませんでした。感想として、テーブルコーディネートについての期待感があったので、最後の課題であるテーブルコーディネート実習に、より興味を持って取り組んでもらえるようにグッズの準備など希望に近いものを用意しました。	シラバスについては、ほぼ予定通りに進めることができました。平均して3、4回欠席をする学生が数名いるため、前回の授業内容が理解できておらず、個人的にプリントなど配布し指導はするが、成績に影響する学生もいるのが現状です。欠席時の学生のフォローが今後の課題です。
ラ	山 岡 正 弘	フード・マネジメント・メニュープランニング	● 対話の機会を増やし、理解度の分析をする。☑ ● 前回の授業内容のフィードバックを必ず実施する。☑ ● グループディスカッションを実施する回数を増やす。☑	● 特殊な内容となるので、理解度に差異が出ている。（飲食サービスの経験者と未経験者の差異による）☑ ● 授業の習熟度に合わせて内容の微調整を必要と感じる。☑ ● 体験型の授業内容を取り入れる。
ラ	松 谷 治 代	製菓演習	授業が10月いっぱいまで終了してしまうため、中間アンケートの回答を受け取っても、内容を反映するタイミングがあいませんでした。☑ が、学生からの回答は100%好意的な内容でした。	進み具合に差があるものの、最終的に、全学生が目標の達成ができたように思う。☑ また、学生の満足度も高かったと思う。
ラ	能 美 智 子	医薬と検査	小テストについて、出題するといった問題については必ず出すように配慮しました。薬剤や検査の暗記は難しいため、配布資料の中から大事な部分のみは暗記してくれるように工夫しました。	多くの学生さんは到達目標に達していると解答しているので、ベース配分や課題についても同じようにしたいと思います。また次年度はバージョンアップとして、学んだ疾患からカルテを作成する課題をもう少し取り入れたいと考えています。
ラ	前 田 志 帆 子	ギフト・ビジネスラッピング演習	全ての生徒から楽しくラッピング技術を学べたとの感想を貰った。しかし2つの資格を目指す授業であるため内容が多く練習する時間が限られており工夫が必要であった。どの席からも、手先の細かい動きを見える様、真上から書画カメラを使い手元のアップをスクリーンで映した。	少人数でしたので、生徒の進捗や得意・不得意がよく分かりました。皆、真剣に課題に取り組んでおり様々な工夫をして良かったと思います。☑ 概ね目標は達成出来たと思う。☑

	教職員氏名	科目名	問1. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	問2. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。（今後の課題も含む）
ラ	杉本 篤史	簿記基礎	説明が少し早くなる場所があったので、それぞれの理解を確認しながら授業を進めた。	最終でしてもらった課題の出来が今までで一番良かった。簿記の基礎を理解することはある程度達成できたと思う。
ラ	白 善暎	ビジネス・医療のための韓国語	韓国語の文字と発音中心で授業を進めてましたが、もう少し会話を早めに初めても良かったと思いました。☒た、医療韓国語ももう少し授業で取り上げようと思います。	シラバス通りに達成はできましたが、もともと学生の差がありましてなかなか合わせるのが難しかったです。☒う少し負担のないシラバスを考え、韓国語の習得ができるようにしたいと思います。☒
ラ	入野 遥	バレエⅡ	少人数の為、一人一人にその子に合ったアドバイスをする。	バレエ経験者には十分な目標達成だったと思う。その一方バレエ未経験者や運動の苦手な人にはレベルの高い目標だったかもしれない。経験者と未経験者の間を埋めることは難しいと思う。
ラ	竹内 和奏	HIPHOP Ⅱ	毎授業での自主練習する時間、自分自身の踊りの向き合う時間を少し多めに取るように改善した。	シラバスの到達目標の達成状況について☒生のアンケート結果と成績を見比べた時、成績よりも学生の達成度が少し低いように感じられました。☒の差は、元々過去に踊ることに触れていた方と、そうで無い方とで☒業内容の難しさの合う合わないがあったと考えています。☒ 今後はダンスに触れていた方も、そうで無い方もしっかりと成長を感じられるよう☒行っていることの段階を下げるのではなく、身体の使い方を細かく深く掘り下げて伝えられるよう☒夫していきたいと思っています。☒